

SEKISUI

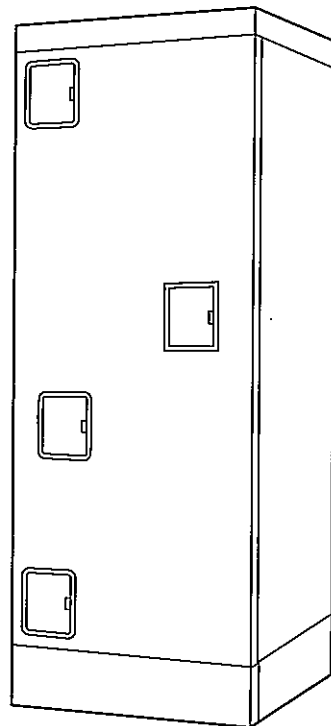
ユーノリチ

セキスイ自動電気温水器

取扱説明書

時間帯別電灯／深夜電力(通電制御)切替式

形名 高圧力型セミオートタイプ
 AUS-37M3K-C AUS-56M3K-C
 AUS-46M3K-C



- *このたびはセキスイ電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- *この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- *お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- *施工説明書を、販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- *保証書は必ずお受け取りください。
- *お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。

時間帯別料金対応型とは

時間帯別料金制度に対応したもので、本体内に時計機能を内蔵しており、電気料金の安い夜間時間にお湯を沸かすようになっています。また、お湯がたりない場合には、昼間時間にお湯を沸かす「沸増し」機能がついています。

時間帯別料金制度とは

電気料金を昼間時間と、夜間時間の2つの時間帯に分けて電気料金を算出する料金制度です。昼間時間の電気料金単価は、一般の従量電灯の料金単価に比べ割高になっていますが、夜間時間の電気料金単価は深夜電力料金と同水準になっています。

高圧力型電気温水器とは

平成10年12月に「労働安全衛生法施行令」が改正され、小型ボイラーの規制が見直されたことにより、今までの電気温水器・最高使用水圧が変更され100kPaから200kPaまでの使用が認められました。これにより2階への給湯及びシャワーの使い勝手が向上され、より利便性の高い商品となりました。ただし、一般家庭以外(事業所等)でご使用の際には改正に伴い諸条件が義務付けられています。

もくじ

安全上のご注意	1
ご使用にあたってのお願い	4
各部のなまえ	5
運転を開始する	9
時刻を合わせる	10
温水器の湯温を設定する	11
温水器の湯温を表示する	11
沸き上げを停止する(るすばん予約)	12
たくさんお湯を使いたい(沸き増し)	13
給湯温度を設定する	14
おふるに湯はりをする	15
リモコンの特殊な使いかた	20
長期間使用しないとき	21
凍結防止について	22
万一の災害時には(非常用水の取り出しバルブの使いかた)	23
停電したとき	24
点検のおすすめ(有料)	24
日常の点検とお手入れ	25
故障診断(調子がおかしいとき)(修理を依頼される前に)	27
故障診断(こんなときは故障ではありません)	29
エラー表示と処置	30
仕様	32
保証とアフターサービス	33
事業者様へのご案内	33
事業所設置の際の規定事項	34



●この電気温水器は、通電制御による特別引き料金の適用を受けられます。適用に当たっては、最寄りの電力会社に申請してください。なお、本体には、右記のシールが貼り付けてあります。



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明




表示	表示の意味
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。


*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

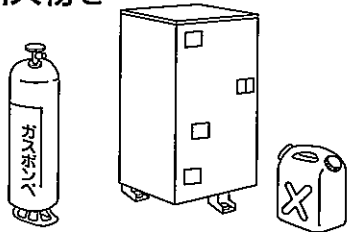
図記号	図記号の意味
 禁止	⊘は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	●は指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。


警告

 **近くにガス類や引火物を置かない**

確認

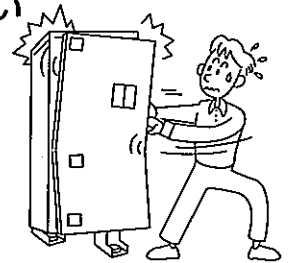
置くと、発火・火災になることがあります。



 **前面カバーを開けない**

禁止

開けると、感電することがあります。

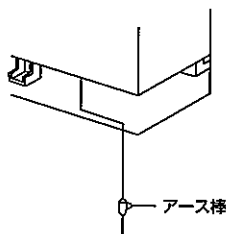



 **アース工事を確認する**

アース工事

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取付けは、据付工事店または「株式会社コロナ」へお問合わせください。

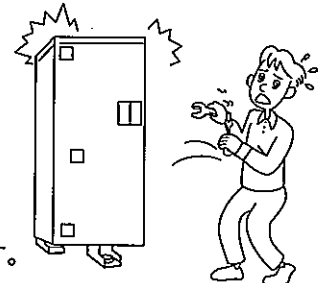



 **改造をしない**

分解禁止

(修理技術者以外の人は)分解・修理をしない

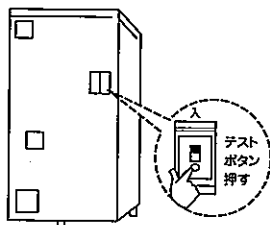
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。




 **漏電遮断器の動作を確認する**

動作確認

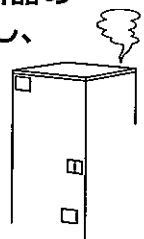
故障のまま使用すると、感電することがあります。



 **異常時(こげ臭い)は、漏電遮断器のレバーを下げて電源を「切」にし、お買いあげの販売店または「株式会社コロナ」へ連絡する**

確認

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。



警告



給湯時は湯水混合栓に手を触れない

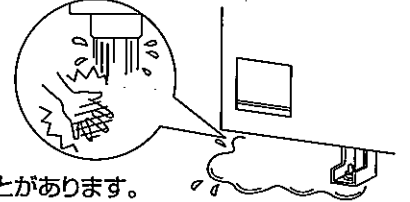
やけど注意 やけどをすることがあります。

給湯レバーを開くと湯水混合栓からお湯が出ます。給湯栓は、少しずつ開いてください。特に、朝の使いはじめは空気の混ざった熱湯が出るがあります。



排水時はお湯に手を触れない

やけど注意



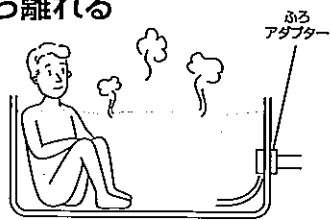
やけどをすることがあります。



高温さし湯を使用するときは、ふるアダプターから離れる

やけど注意

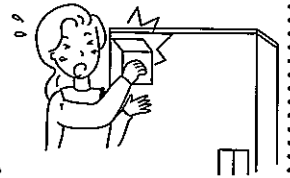
やけどをすることがあります。



逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない

やけど注意

やけどをすることがあります。

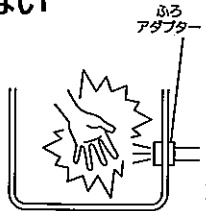


浴槽にお湯がないときは、高温さし湯スイッチを押さない

やけど注意

やけどをすることがあります。

浴槽にお湯がないときも、高温さし湯スイッチを押すとふるアダプターから熱い湯が出ます。浴槽や、ふるアダプターのお手入れを行うときは、特に注意してください。



給湯湯温の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行う

確認

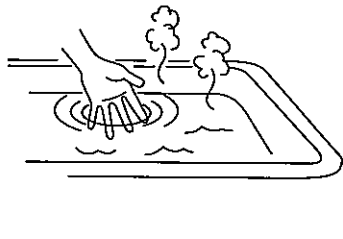
やけどをすることがあります。浴室でシャワーを使用しているときは、給湯湯温の変更をしないでください。



入浴するときは、浴槽の湯温を確かめる

確認

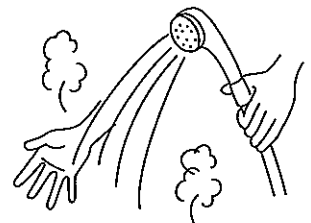
やけどをすることがあります。



シャワー使用時は、湯温を確かめる

確認

やけどをすることがあります。



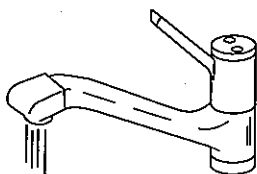
注意



水道水を使用する

上水道

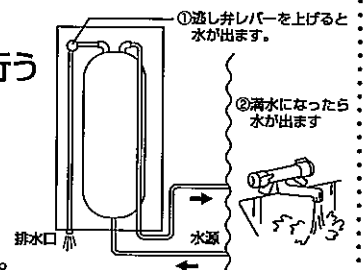
水質基準に適合しない水を使用すると、故障や水漏れの原因になります。



通電はタンクを満水にしてから行う

満水確認

「空焚き」は、ヒーターが加熱して故障の原因になります。

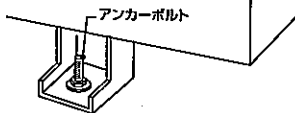


⚠ 注意

! 脚（3カ所）がアンカーボルトで固定されているか確認する

確認

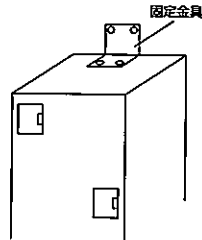
固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。



! 2階以上に据付けた場合上部固定金具が壁に固定されているか確認する

確認

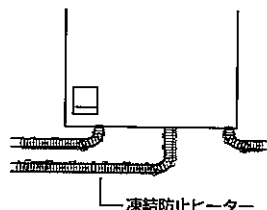
固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。



! 凍結防止対策の確認をする

動作確認

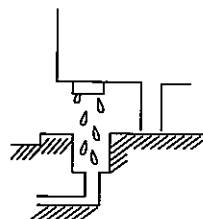
凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。



! 床面が防水・排水処理されているか確認する

確認

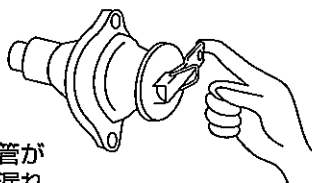
処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながる可能性があります。



! 逃し弁の点検をする

点検

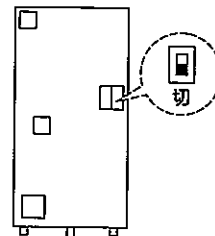
点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



! 1ヵ月以上使用しないときは、電源を「切」にしてタンクの排水をする

電源確認

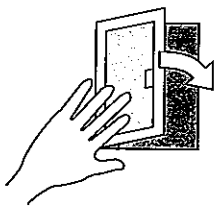
排水しないと水質が変化することがあります。



! 操作カバー・操作窓は閉じる

動作確認

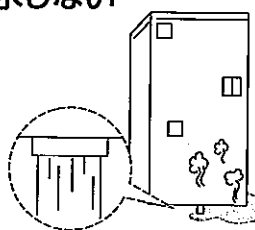
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。



⊘ タンクの熱湯を直接排水しない

禁止

やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

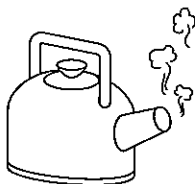


! そのまま飲用しないこと

沸騰後飲用

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。



⊘ ふろアダプターをふさがない

禁止

本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。



⊘ 硫黄（イオウ）、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤を使用しない

禁止

本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。入浴剤や洗剤を使用する場合は、その注意書きに従ってください。



! シャワー給湯栓はサーモスタット付湯水混合栓を使用して下さい
給湯温度が不安定になるおそれがあります。

確認

ご使用にあたってのお願い

使用電力制度を確認する

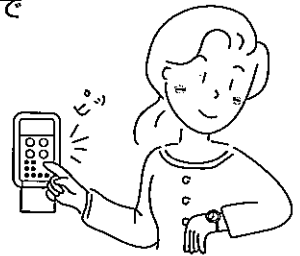
この商品は、使用している電力制度によって一部ご利用いただけない機能があります。ご使用の電力制度をご確認ください。



深夜電力制度でお使いのお客様は、わき増し機能をご利用できません。

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、メインリモコンで時刻を合わせ直してください。

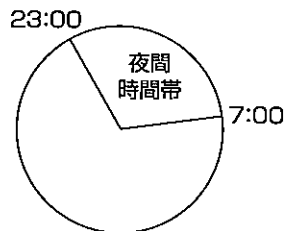


「時間帯別電灯」料金制度の場合

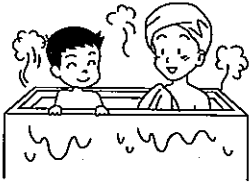
時刻がずれていると、タンク内をわき上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

入浴時のお願い

入浴は、できるだけ夜間時間帯（メインリモコンの「沸上中」が表示されているとき）を避けて連続して行うようにしてください。



夜間時間帯は、地域によって異なります。



夜間時間帯にお湯を使うと、翌日の湯温が低くなり、お湯がたりにくくなることがあります。

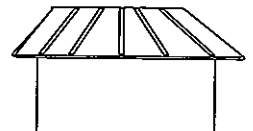
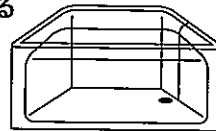
湯はり時のお願い

湯はりをするときは、次のことをご確認ください。

●浴槽の残水を排水して排水栓を閉じる

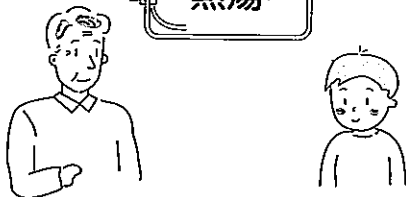
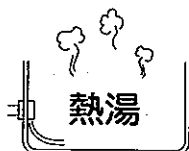
●浴槽のふたをする

残水があると、湯はりをしないときがあります。



「高温さし湯」についてのお願い

高温さし湯を行うと、ふるアダプターから、熱いお湯（約80℃または約60℃）が出ます。お子さまや高齢者の方の取扱いについては、特に注意してください。



安全のため、高温さし湯スイッチは3秒以上押さないとお湯が出ません。

お湯の上手な使いかた

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。お湯は大切に使ってね



●シャワーは必要なときだけ（髪を洗っているときは止めましょう。）



●洗いのものをするときは必要なときだけ

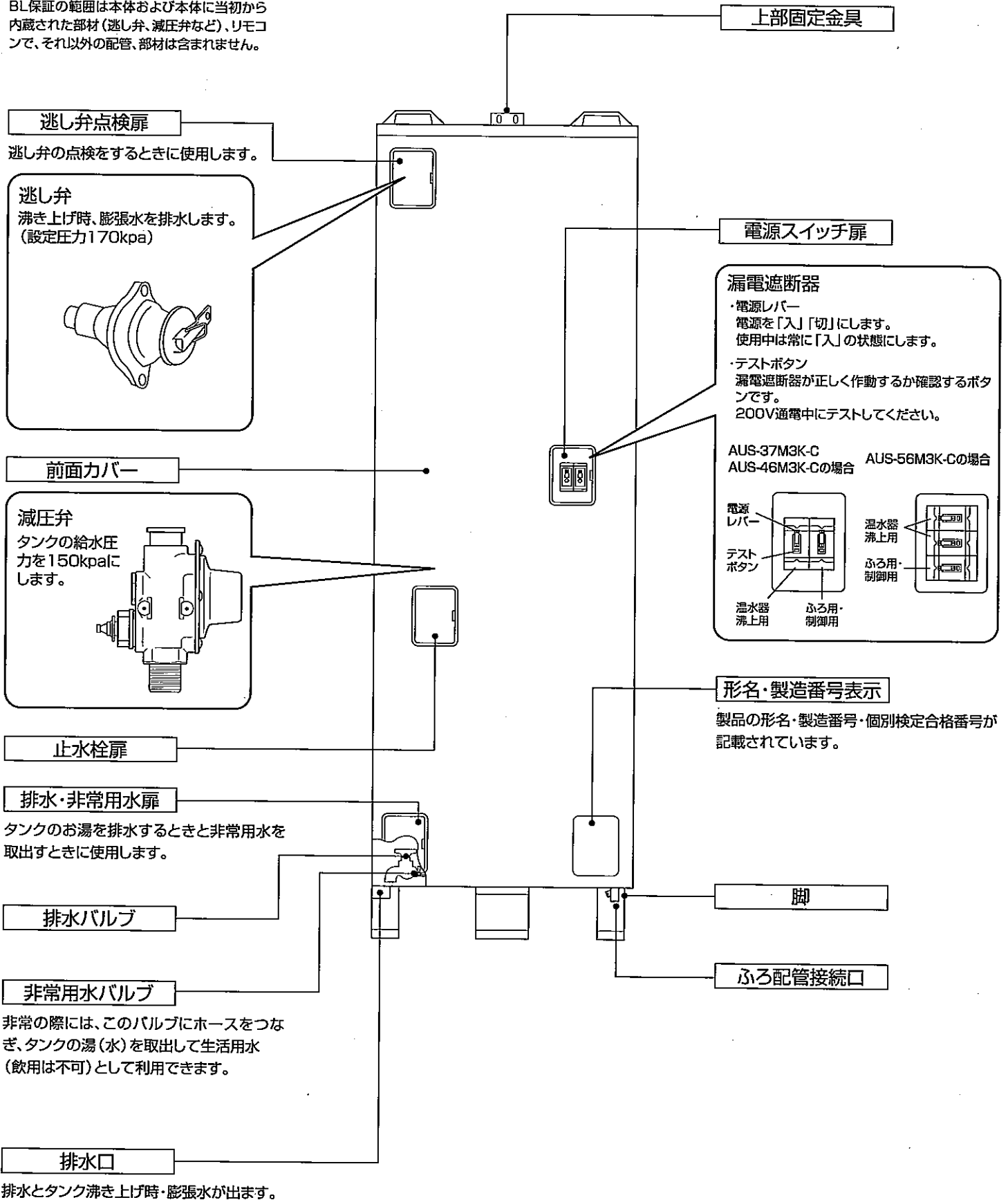


高圧力型のため、出湯量は従来の温水器よりも約20%程度多くなります。シャワーを使うときや、洗いのものをするときなどは、こまめに止めましょう。流しっぱなしにすると湯切れの原因となります。

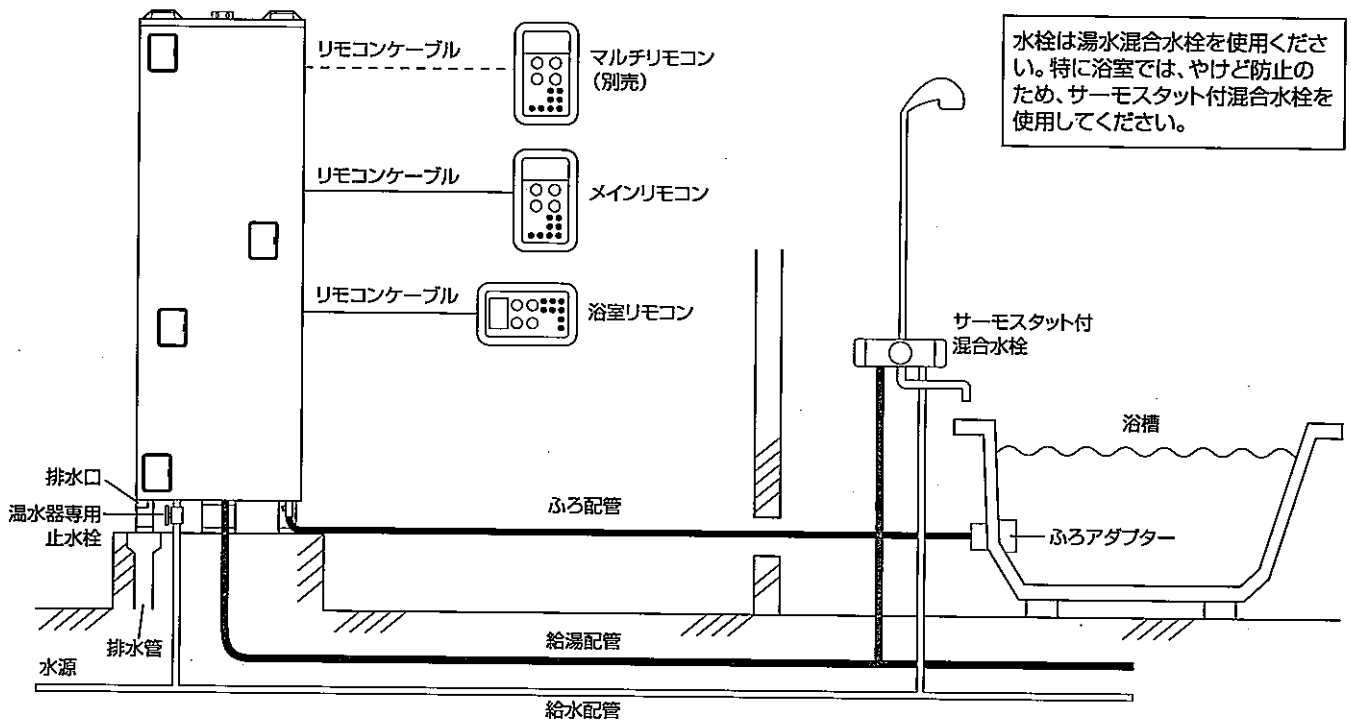
各部のなまえ (本体・本体周辺部)

本体

BL保証の範囲は本体および本体に当初から内蔵された部材(逃し弁、減圧弁など)、リモコンで、それ以外の配管、部材は含まれません。

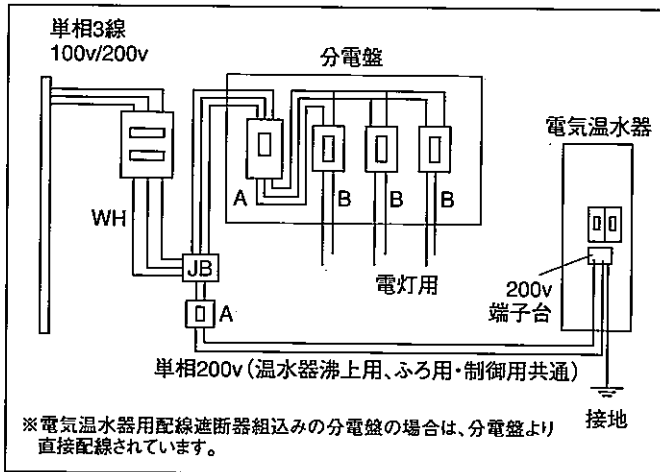


本体周辺部

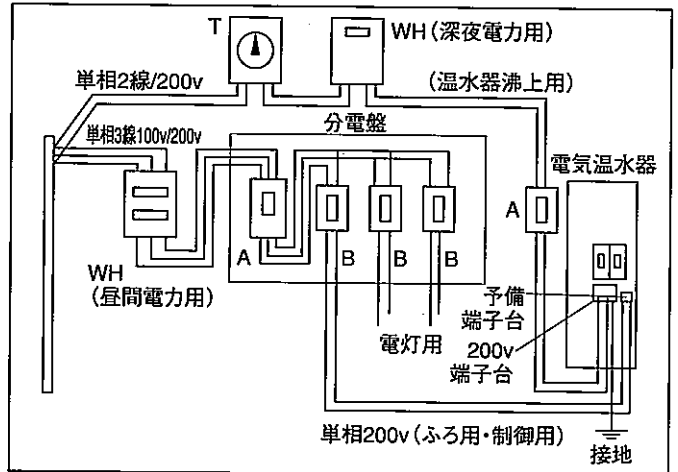


●配線例 (配線は契約した電力制度で異なります。)

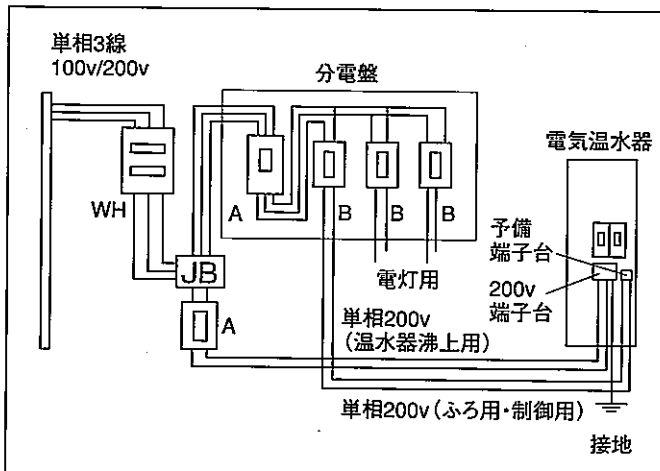
■「時間帯別電灯」の例



■深夜電力通電制御型 (8時間) の例



WH:電力量計 A:親配線用遮断器 B:配線用遮断器 T:タイムスイッチ







WH:電力量計 (2時間メーター) A:親配線用遮断器 B:配線用遮断器 JB:分岐ボックス

メインリモコンのスイッチについて

表示部

- 電源: 200V通電の表示です。
- 沸上中: 電気ヒーターで沸き上げ中に表示します。
- 高温: 50・60℃給湯のとき表示します。
- 湯切れ注意: 残り湯が50%未満になったとき表示します。
- 残湯量: 残り湯量を表示します。

残湯量の見方(例)

リモコン表示部	残湯量(目安)
 50 100 150 L	150L以上
 50 100 150 L	100L以上 150L未満
 50 100 150 L	50L以上 100L未満
 50 100 150 L	50L未満

●タンク沸上温度

沸き上げ温度設定の表示をします。

●沸き増し

屋間電力で沸き上げ設定すると表示します。

- 時間帯別: 時間帯電灯契約のとき表示します。
- 深夜電力: 深夜電力契約のとき表示します。
- 湯はり予約: 湯はり予約したとき表示します。
- るすばん予約: るすばん予約したとき表示します。
- エラー: エラーのコードを表示します。
- 現在時刻: 午前午後の時刻を表示します。
- ℃: タンク内の温度を表示します。
- 泊: るすばん予約の設定泊数を表示します。

ふる自動ボタン

- 押すと点灯し、設定温度、設定湯量で自動湯はりを開始します。
- 音声で「湯はります」と伝えます。
- 途中でやめたいときは、もう一度押します。
- 湯はりが完了すると、メロディと音声で「お風呂が沸きました」と伝えます。

沸き上げ温度切り替えボタン

- 沸き上げ温度の切替をします。
[高] 約90℃に沸き上げます。
[おまかせ] 約70~90℃の温度で沸き上げます。





湯温表示ボタン

- タンク内の温度を表示部に表示します。

音量ボタン

- 音量レベルを設定します。
- 押すごとに[標準→大→消す→小→標準]となります。
- 音声で「音量は標準です」「音量は大です」「音量を消します」「音量は小です」と伝えます。

給湯温度設定ボタン

- 優先ボタンが押されているときのみ有効です。
- 温度が変えられる範囲 35℃~48℃(1℃ごと) 50℃、60℃
- 「 ボタン」音声で「あつく」と伝えます。
- 「 ボタン」音声で「ぬるく」と伝えます。
- 優先ボタンが押されていない状態で「」「」ボタンを押すと「給湯温度は変更できません」と伝えます。

優先ボタン

- このボタンを押すとメインリモコンで一般給湯温度を操作できます。
- 押すとランプが点灯し、温度変更ができます。
- 音声で「給湯温度が変更できます」と伝えます。

沸き増し設定ボタン

- 屋間電力で沸き上げるとき使います。
[1日] 1日のみ、1日中「沸き増し」します
[毎日少] 毎日、100%のみ「沸き増し」します
[毎日多] 毎日、1日中「沸き増し」します

るすばん予約ボタン

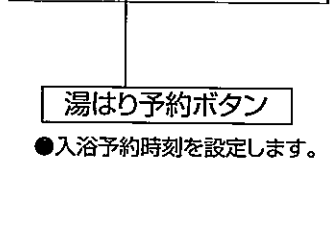
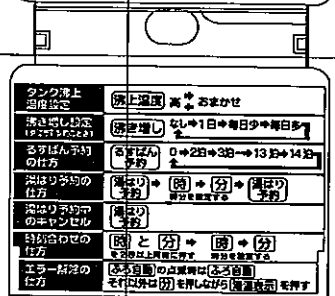
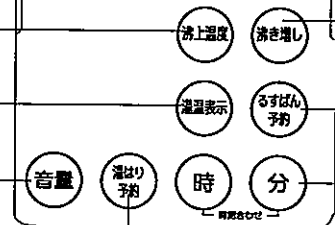
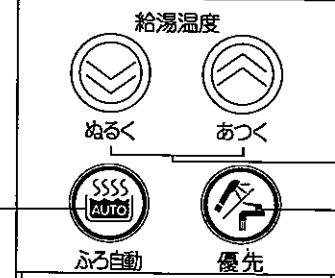
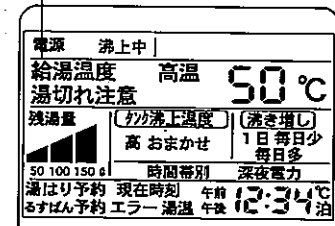
- タンク沸き上げ停止日数を設定します。
- 外出する泊数を設定します。
- 設定は「0、2、3……14、0、2」
「0」はキャンセル、最大14まで設定できます。

時・分ボタン

- 時刻合わせ、予約時刻合わせをするときに押します。
- 時刻は、12時間表示です。

湯はり予約ボタン

- 入浴予約時刻を設定します。



メインリモコンは、防水タイプではありません。水をかけないでください。故障の原因になります。

浴室リモコンのスイッチについて

呼び出しボタン

- このボタンを押すとメインリモコンからも呼び出し音が鳴ります。

表示部

- 優先: 点灯時は浴室リモコンが優先です。
- 高温: 50・60℃給湯のとき表示します。
- 45℃: 給湯の温度
- 予約: 湯はり予約が有りのとき表示します。
- 12:00: 現在時刻を表示します。
- 42: 風呂給湯の温度を表示します。
- 水湯: 水湯どちらが出ているか表示します。
- ⇒: 水・湯が出ているとき表示します。

優先ボタン

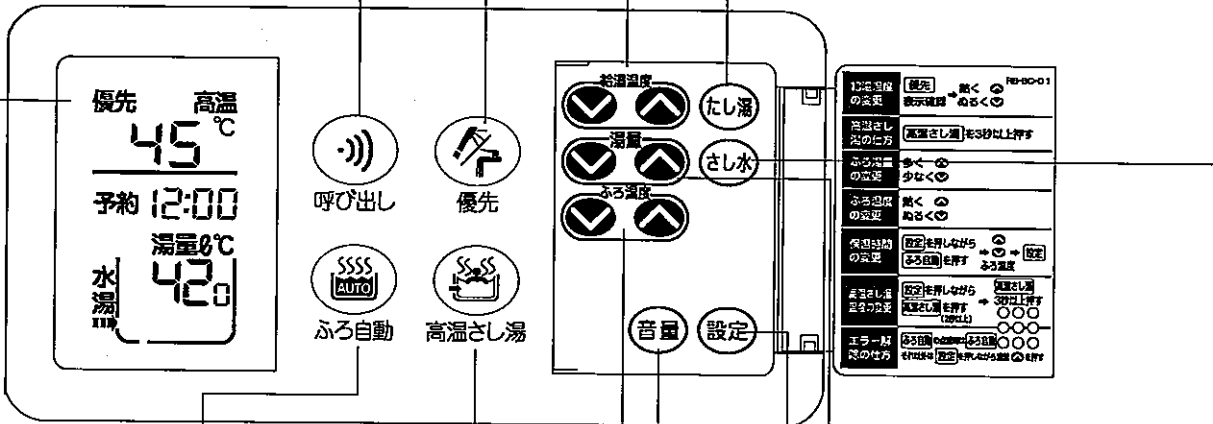
- このボタンを押すと浴室リモコンで一般給湯温度を操作できます。
- 押すとランプが点灯し、温度変更ができます。
- 音声で「給湯温度が変更できます」と伝えます。

給湯温度設定ボタン

- 優先ボタンが押されている場合のみ有効です。
- 変えられる温度範囲は35℃～48℃(1℃ごと)、50℃、60℃です。
- 「▲ボタン」音声で「あつく」と伝えます。
- 「▼ボタン」で音声で「ぬるく」と伝えます。
- 優先ボタンが押されていない状態で「▲▼」ボタンを押すと音声で「給湯温度は変更できません」と伝えます。

たし湯ボタン

- 設定温度のお湯を2分間注入します。
- 動作中にもう一度押すとキャンセルされます。



ふる自動ボタン

- 押すと点灯し、設定温度、設定湯量で自動湯はりを開始します。
- 音声で「湯はりします」と伝えます。
- 途中でやめたいときは、もう一度押します。
- 湯はりが完了すると、メロディと音声で「お風呂が沸きました」と伝えます。

音量ボタン

- 音声レベルを設定します。
- 押すごとに「標準→大→消す→小→標準」となります。
- 音声で「音量は標準です」「音量は大です」「音量を消します」「音量は小です」と伝えます。

さし水ボタン

- 風呂温度を1℃下げる量の水を注入します。
- 動作中にもう一度押すとキャンセルされます。

湯量設定ボタン

- 湯はり量を設定します。
- 「▲ボタン」音声で「湯量を多く」と伝えます。
- 「▼ボタン」音声で「湯量を少なく」と伝えます。
- 湯量は20Lきざみで100L～400Lまで設定できます。

高温さし湯ボタン

- 約60℃のお湯を2分間注入します。
- 音声で「熱いお湯が出ます。熱いお湯が出ます」と2回伝えます。
- 注入中はランプが点灯し、もう一度押すとキャンセルされます。
- 高温差し湯は、高温差し湯ボタンを3秒間押さないと出ません。

ふる温度ボタン

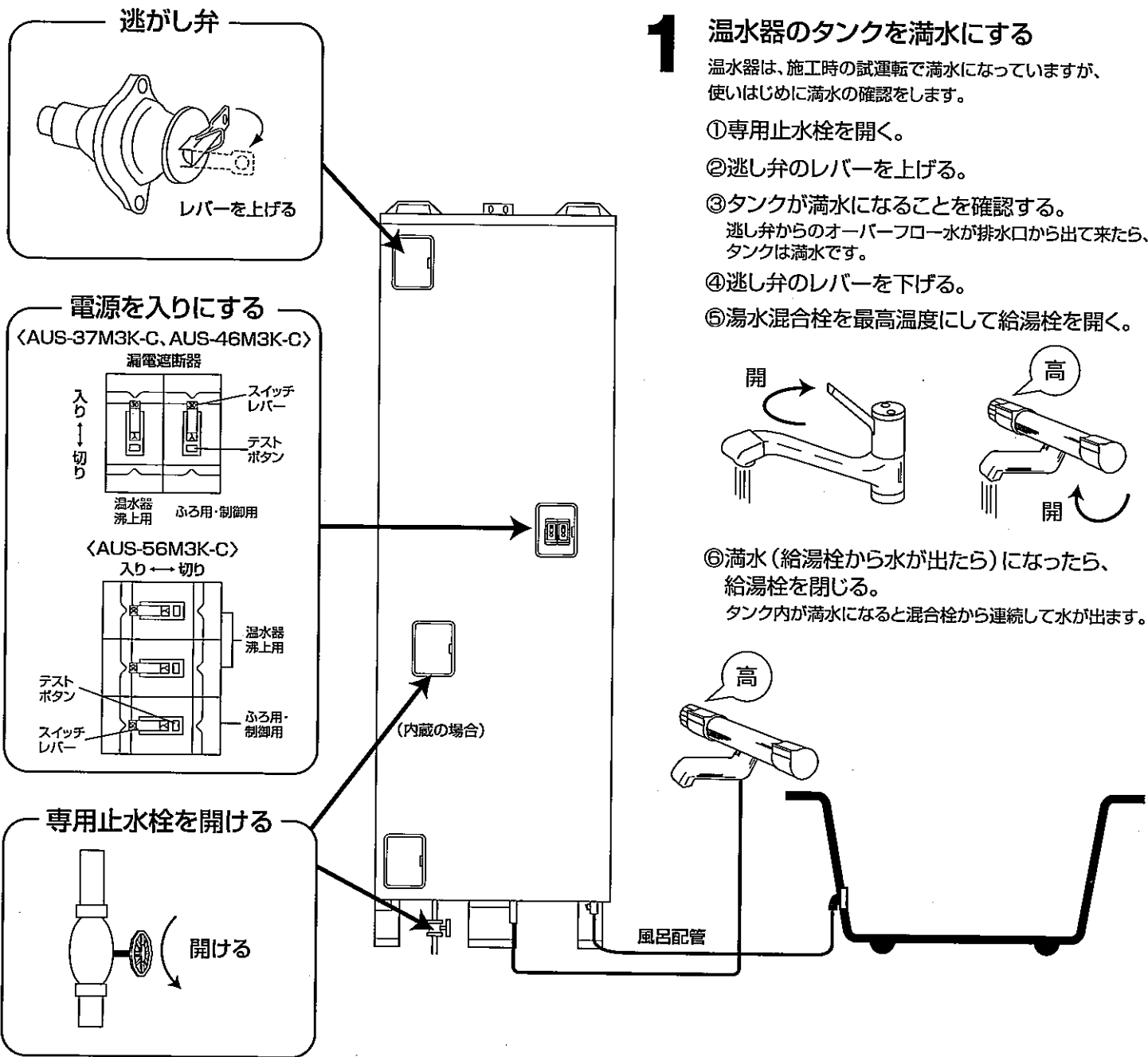
- 湯はり温度を設定します。
- 可変温度範囲は35℃～48℃(1℃ごと)
- 「▲ボタン」を押すと音声で「ふる温度をあつく」と伝えます。
- 「▼ボタン」を押すと音声で「ふる温度をぬるく」と伝えます。

設定ボタン

- 特殊な設定をするときに使います。

運転を開始する

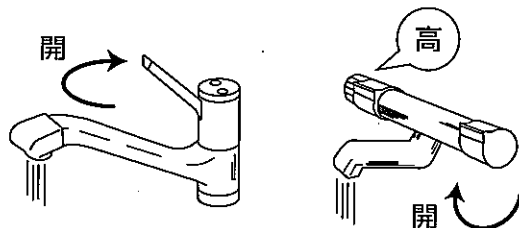
使いはじめは、次の手順でおこないます。



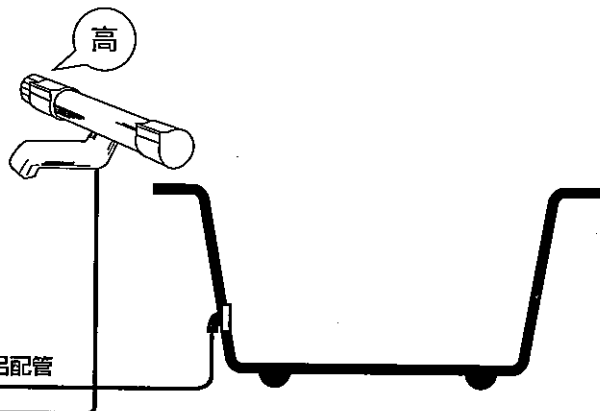
1 温水器のタンクを満水にする

温水器は、施工時の試運転で満水になっていますが、使いはじめに満水の確認をします。

- ①専用止水栓を開く。
- ②逃し弁のレバーを上げる。
- ③タンクが満水になることを確認する。
逃し弁からのオーバーフロー水が排水口から出て来たら、タンクは満水です。
- ④逃し弁のレバーを下げる。
- ⑤湯水混合栓を最高温度にして給湯栓を開く。

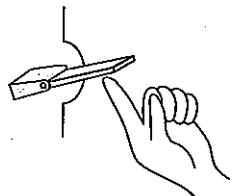


- ⑥満水（給湯栓から水が出たら）になったら、給湯栓を閉じる。
タンク内が満水になると混合栓から連続して水が出ます。



2 電源を「入り」にする

- ①200V配線用遮断器を「入り」にする。



- ②温水器の漏電遮断器を「入り」にする。

⚠ 注意

通電はタンクを満水にしてから行う

3 メインリモコンで温水器の設定をする

- ①時刻を合わせる。(10ページ)
- ②温水器の沸き上げ温度を設定する。(11ページ)

4 お湯を使う

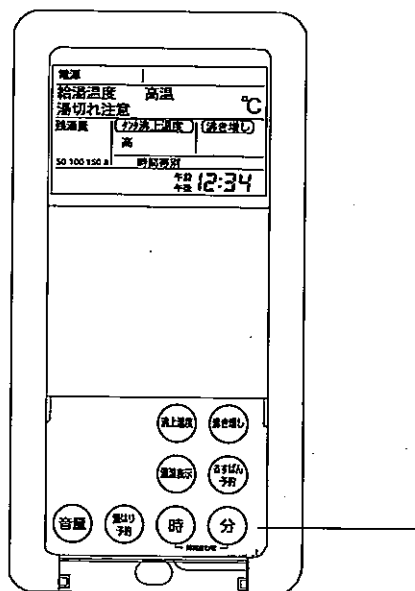
翌朝から、お湯は使えます。

⚠ 注意

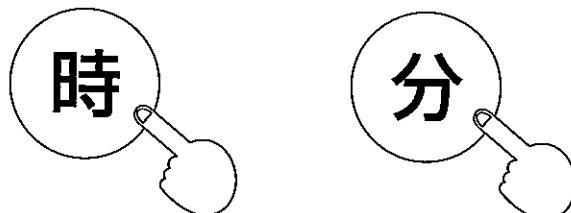
使いはじめはやけどに注意してください。

時刻を合わせる

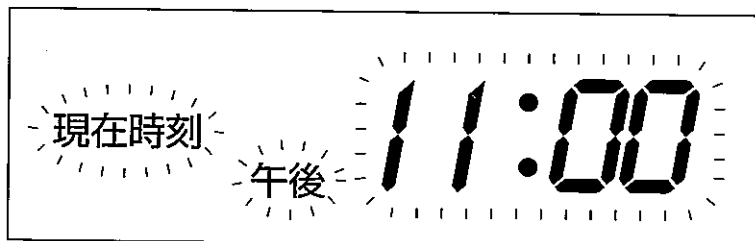
温水器のお湯を沸かすために時刻を合わせます。
現在時刻が合っていないと、電気料金が割高になることがあります。



1 ①時②分を同時に2秒程度長押しする。



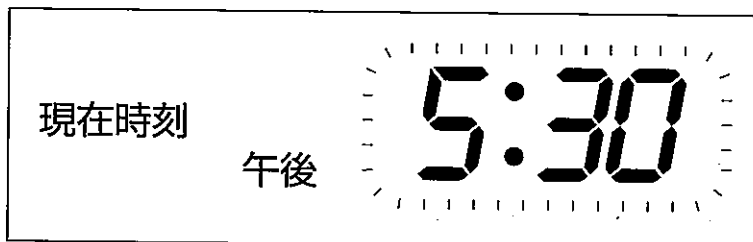
初期状態(リセット時、お買いあげ時)は午後11:00が点滅します。
表示部が点滅中に



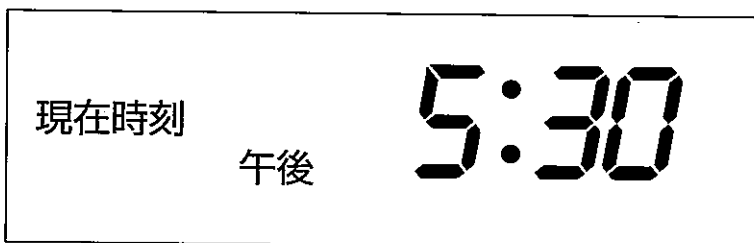
2 ③時④分を押して時刻を合わせる。

③時を押すと、1時間ずつ時刻の表示が進みます。
④分を押すと、1分間ずつ時刻の表示が進みます。
スイッチを押し続けると、数字は連続して進みます。

例) 午後5時30分に時刻を合わせます。



約10秒間経過すると時刻が点灯になり、時刻設定が完了します。



浴室リモコンは、自動的に時刻が設定されます。

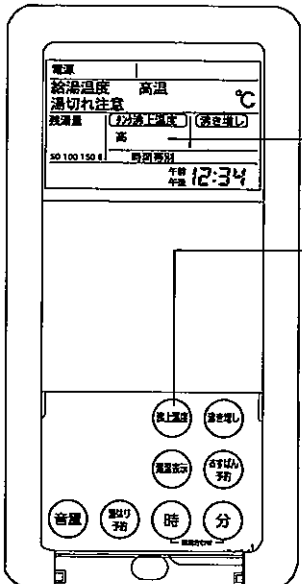
お願い

- 時計の精度は、月差で約1分間です。時刻が進んだ場合や、遅れた場合は時刻合わせをしてください。
- 2時間以上停電があった場合や、長時間電源を切りにした場合は、時計は[午後11:00]が点滅しますので必ず現在時刻に合わせてください。時計が合っていないと電気料金が割高になることがあります。

温水器の湯温を設定する

使用湯量に合わせて、温水器の沸き上げ温度を設定してください。湯切れ防止のため、湯温設定は[高]に設定してください。

メインリモコン



リモコン表示部

タンク沸上温度
高 おまかせ

どちらが表示

お買いあげ時の設定	高
変更できる設定	高・おまかせ

沸上温度

押すごとにタンク沸上温度表示が順に変わります。
高→おまかせ→高
表示されたものが設定されます。

タンク沸上温度表示	沸き上げ温度	使用される状況
高	約90℃	・初めて使用するとき ・通常使用するとき
おまかせ	約70℃~90℃	・お湯の使用が毎日一定のとき ・お湯の使用量が少ないとき

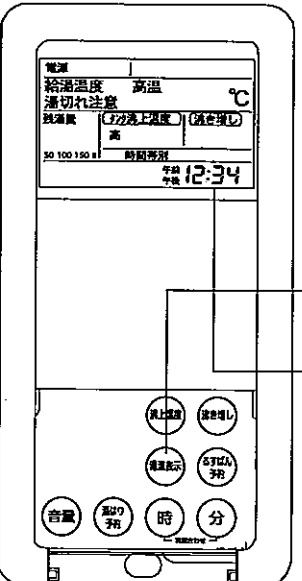
- [おまかせ] は、お湯の使用状況と給水温度により、沸き上げ温度をマイコンが計算して、沸かしすぎを押さえて電気代を節約するものです。
- 沸き上げ温度は、沸き上げ直後の湯温で設定に対して2~3℃ばらつくことがあります。
- 湯温は、時間の経過とともに少しずつ(季節によって1時間に0.5~1℃)低下します。

お願い

- [おまかせ] でご使用中、翌日来客などでお湯をたくさん使用されることが予測される場合は、[高]に設定してください。

温水器の湯温を表示する

メインリモコン



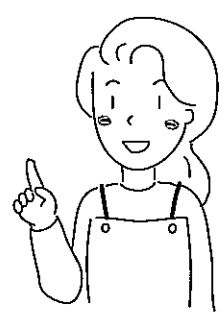
湯温表示

現在時刻の表示が消え、温水器の湯温表示になります。

リモコン表示部

湯温 88℃

数秒間表示して、現在時刻表示に戻ります。



沸き上げを停止する(るすばん予約)

旅行などで何日間もお湯を使わないときに、温水器の沸き上げを停止することができます。

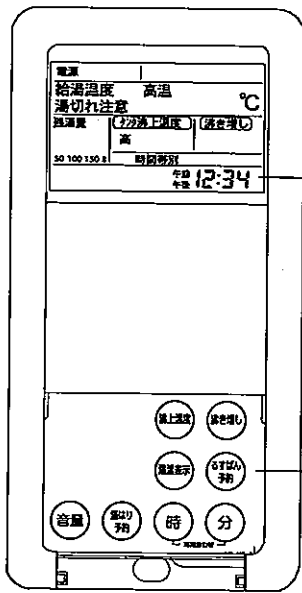
●設定できる範囲は、2日～14日間です。

沸き上げ停止日数の決め方

例) 3泊4日の旅行の場合、沸き上げを停止したい。
泊数**3**をリモコンで設定してください。

例) 5泊6日の旅行の場合、沸き上げを停止したい。
泊数**5**をリモコンで設定してください。

●帰宅日には、朝からお湯は沸いています。



リモコン表示部

予約前

現在時刻 午後 **8:30**

1

るすばん
予約

るすばん予約 **0**泊

2

るすばん
予約

るすばん予約 **2**泊

3

るすばん
予約

ボタン押すごとに数字が

0 → 2 → 3 → 4 → 5 → …… 12 → 13 → 14 → 0 → 2
と変化します。

4

るすばん
予約

例) 3泊4日の旅行の場合、沸き上げを停止する。

るすばん予約 **3**泊

5

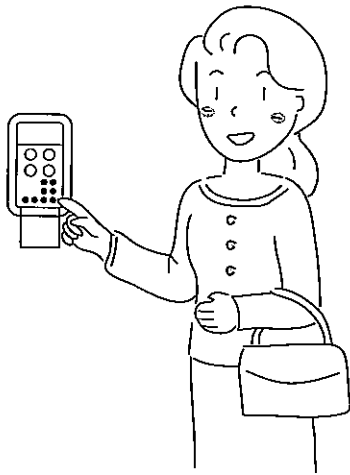
予約完了

るすばん予約 **3**泊

解除するとき

るすばん
予約

ボタン押して0泊にする



たくさんお湯を使いたい（沸き増し）

来客などでたくさんお湯の使用が予測される時は、あらかじめ「沸き増し」設定しておくことで昼間時間帯に必要な応じてお湯を沸き上げるので湯量不足を防ぐことができます。

（深夜電力契約でお使いの場合は「沸き増し」はできません。）

沸き増しのしくみと設定の目安

	毎日少	毎日多	1日
沸き増し	毎日、残り湯が100L切ると、1回のみ100L沸き増しする	毎日、タンクのお湯が約50L以上減ると何回でも沸き増しする	1日に限りタンクのお湯が約50L以上減ると何回でも沸き増しする
設定の目安	冬季や家族数の多いときなど湯量不足が予測される場合	冬季や家族数の多いときなど湯量不足が予測される場合	来客があり湯量不足が予測される場合
しくみ	<p>（お湯が100L以下になると上ヒーターで沸き増し開始） （約100Lのお湯を確保）</p>	<p>（お湯を約50L以上使うと上沸き増し開始） （満たんにお湯を確保）</p>	<p>（お湯が100L以下になると下ヒーターで沸き増し開始） （約100L沸き増し後） （満たんにお湯を確保）</p>

「沸き増し」設定のしかた

メインリモコン

沸き増し

ボタンを押すと沸き増しの表示が順に変わります。表示されたものが設定されます。

リモコン表示部

沸き増し

1日 → 毎日少 → 毎日多 → (表示なし)
→ 1日 → 毎日少 … くりかえし …

「沸き増し」しないときは、沸き増しの表示を消してください。

- 沸き増しは、昼間電力で沸き上げるので電気料金が割高になります。
- 沸き増しの温度設定は、温水器の「沸き上げ温度」とおなじです。温水器の「沸き上げ温度」が「おまかせ」の場合おまかせの設定となります。「高」設定をおすすめします。

給湯温度を設定する

キッチン、洗面、シャワーなどの一般給湯の湯温をコントロールできます。メインリモコンと浴室リモコンどちらからでもできます。メインリモコンと浴室リモコンどちらか優先を決めて行ってください。※マルチリモコンで使用する場合は、3台のうち1台が優先となります。

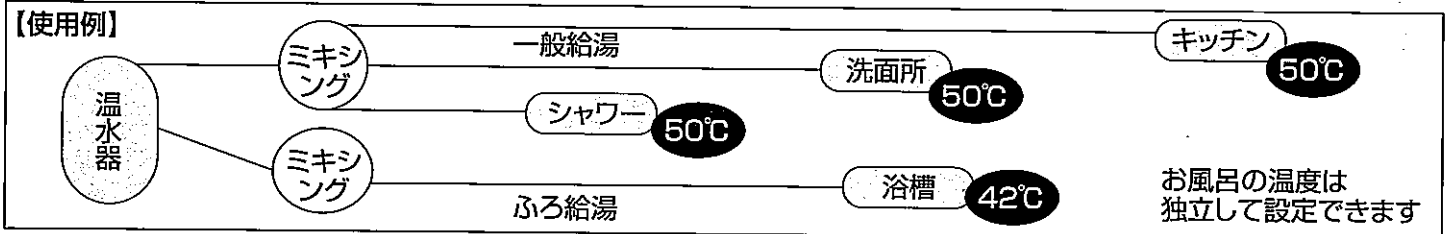
- 初期（お買いあげ時）の設定温度は、42℃で優先権はメインリモコンです。
- 設定できる温度は、35～48℃（1℃ごと）50℃、60℃です。



やけどに注意

給湯温度の変更は、他の蛇口の使用を確認してから行う。

浴室でシャワーを使用しているときは、給湯温度の変更はしない。



お願い ●サーモスタット付湯水混合栓の場合は、リモコンの給湯温度の設定は使用するお湯の温度よりも約10℃高めに設定してください。

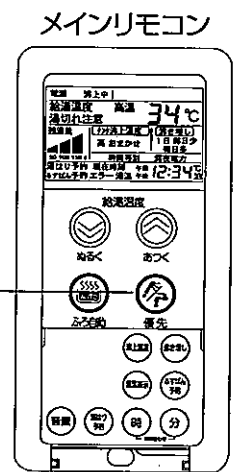
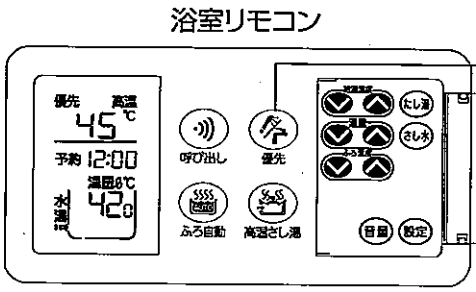
1. 優先権のあるリモコン



優先

ランプが点灯している方に優先権があります

音声「給湯温度が変更できます」

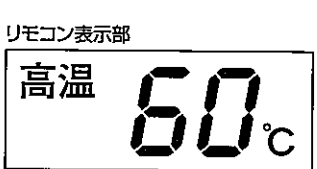


2. 優先権のあるリモコンで給湯温度を決める

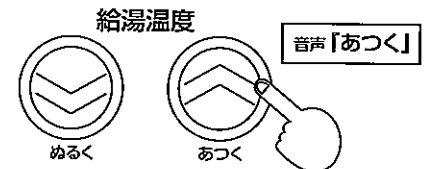
優先権のないリモコンで給湯温度の変更はできません。また給湯温度の変更ボタンを押したときは、

音声「給湯温度が変更できません」と伝えます。

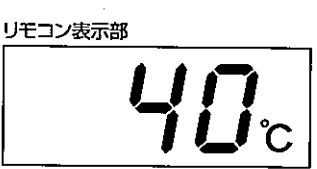
■浴室リモコンで給湯温度を上げる



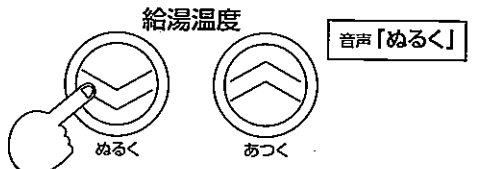
■メインリモコンで給湯温度を上げる



■浴室リモコンで給湯温度を下げる



■メインリモコンで給湯温度を下げる

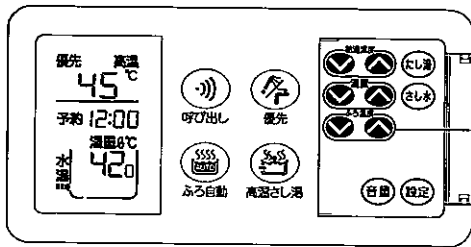


- 『音声』は、優先ランプの点灯しているリモコンが「音声「あつく」」
- 他のリモコンは、「音声「給湯温度が変更されました」」と伝えます。

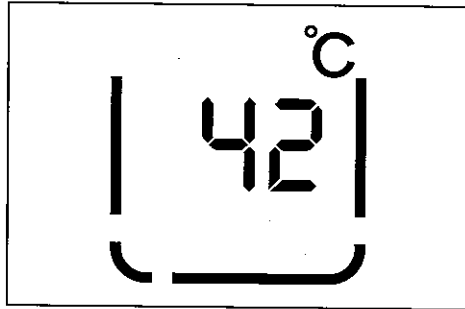
お風呂に湯はりをする

1 湯温を設定する

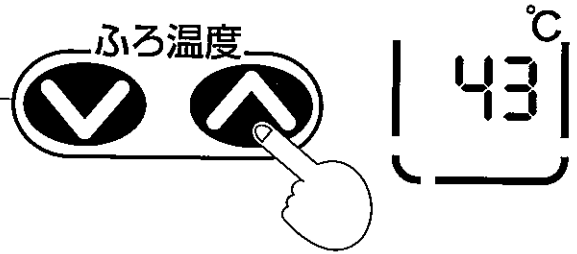
浴室リモコン



リモコン表示部

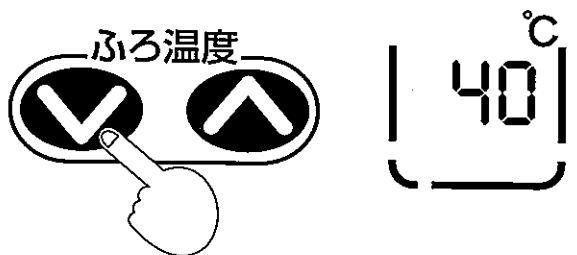


ふろ温度ボタンを押して温度を上げる



音声「ふろ温度をあつく」 1℃ずつ設定温度が高くなります。

ふろ温度ボタンを押して温度を下げる

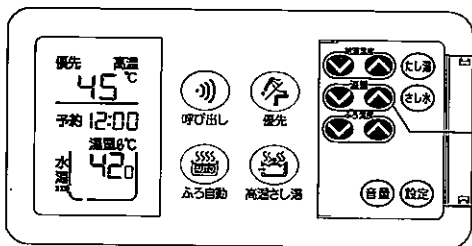


音声「ふろ温度をぬるく」 1℃ずつ設定温度が低くなります。

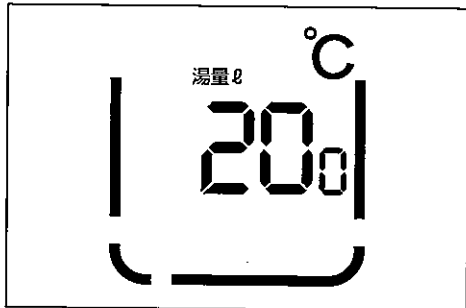
- 初期設定(お買いあげ時)は42℃です。
- 変えられる温度範囲は、35℃~48℃で1℃ごとに変更できます。

2 湯量を設定する

浴室リモコン



リモコン表示部



湯量ボタンを押して湯量を下げる



音声「湯量を少なく」 20Lずつ設定湯量が少なくなります

湯量ボタンを押して湯量を上げる



音声「湯量を多く」 20Lずつ設定湯量が多くなります

- 初期設定(お買いあげ時)は140Lです。
- 湯量は100L~400Lまで、20L刻みで設定できます。

お願い

- 浴槽容量の確認/浴槽容量よりも湯量を多く設定すると、浴槽からお湯があふれます。
/使用している浴槽の容量に合わせたご使用をお願いします。

3 湯はりする

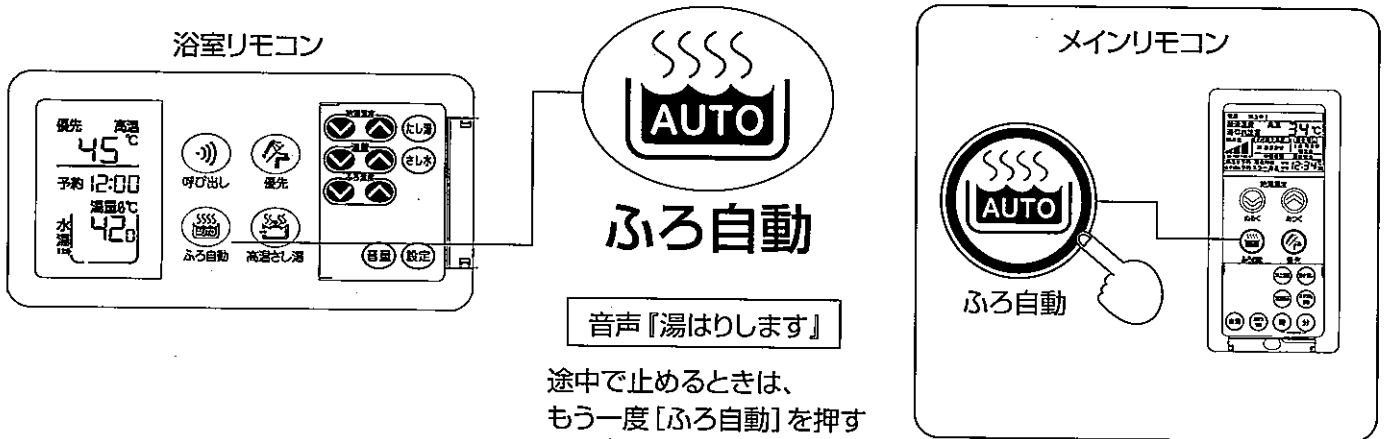
【ふる自動】ボタンを押すだけで、あらかじめ設定した湯温・湯量で湯はりができます。

●湯はり時間の目安

湯はり湯温42℃、湯はり湯量約200L

1階浴槽:約15分～20分 2階浴槽:約20分～30分

ただし、配管の長さ・水圧・他の水栓の使用状況によりばらつきがあります。



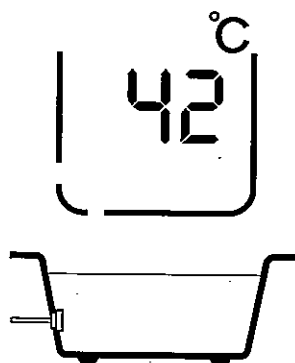
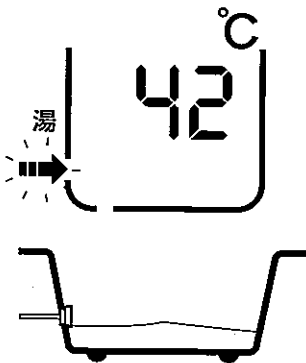
リモコン表示部

■ふる自動の動作

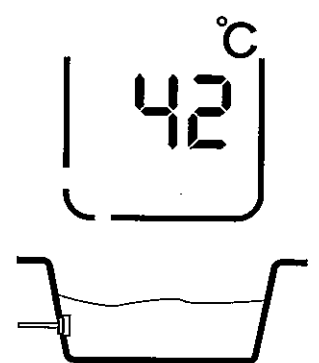
メロディー・音声 「おふろが沸きました」

湯はり中

ふる自動 が消灯します。



■【ふる自動】解除したとき



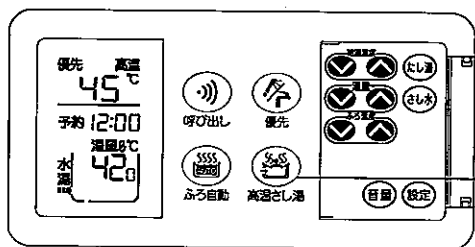
●湯はり中に、シャワーなどでお湯を使うと、湯はり時間が長くなる場合があります。

お願い

- 湯はり中は、途中で【ふる自動】を止めないでください。
- 湯はり中は、シャワーなどから浴槽へ湯や水を足さないでください。
- 湯はり中は、湯温や湯量の設定を変えないでください。
- 湯はり完了前に入浴しないでください。

4 お風呂の湯温を上げる(高温さし湯)

お湯がぬるいとき、浴槽の湯温を上げるために約60℃のお湯を2分間注入します。



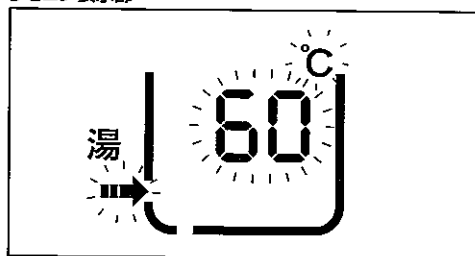
3秒間長押しする



やけどに注意

高温さし湯

リモコン表示部



音声「熱いお湯が出ます」「熱いお湯が出ます」

途中で止めるときはもう一度を押す

- 高温さし湯中にエア－が出ることがあります。
- 湯はり中は使用できません。
- 最初は配管内の冷めた水が出ることがあります。

■高温さし湯の設定温度を変える

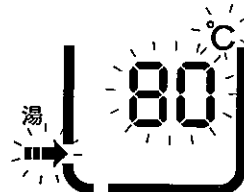
高温さし湯の湯温は、80℃にも設定できます。



やけどに注意

1.設定ボタンを押しながら高温さし湯ボタンを2秒以上押しと高温さし湯ボタンが点滅します。

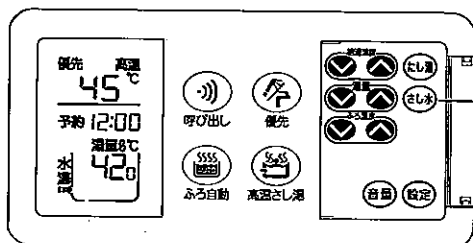
2.高温さし湯ボタンが点滅しているうちに、高温さし湯ボタンを3秒以上押し。



- 沸き上げ温度が80℃以下のときは、80℃以下のお湯が出ます。
- 80℃設定は1回限りです。80℃さし湯した後は60℃設定に戻ります。
- 「高温さし湯」のランプが点滅しているうちに「高温さし湯」をしなかったときは60℃設定に戻ります。

5 お風呂の湯温を下げる

お湯が熱いとき、浴槽の湯温を1℃下げる量の水を注入します。

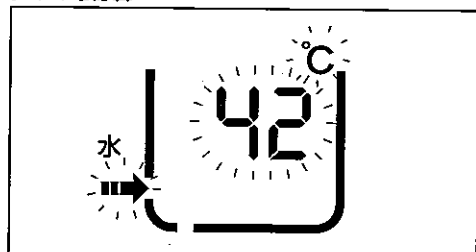


さし水

途中で止めるときはもう一度を押す

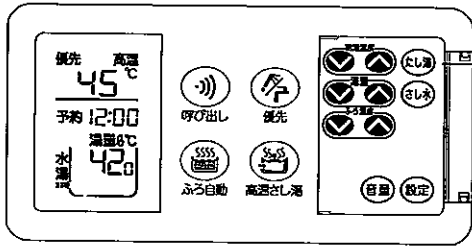
- さし水中にエア－が出ることがあります。
- 湯はり中は使用できません。

リモコン表示部



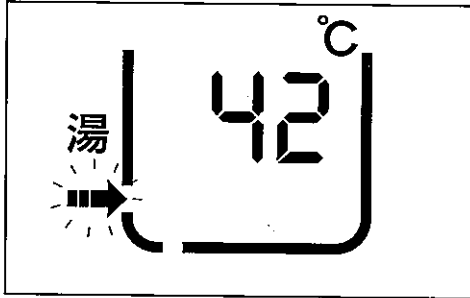
6 お風呂のお湯をたす (たし湯)

お湯が少なくなったとき、湯はりで設定した湯温のお湯を2分間注入します。



たし湯

リモコン表示部

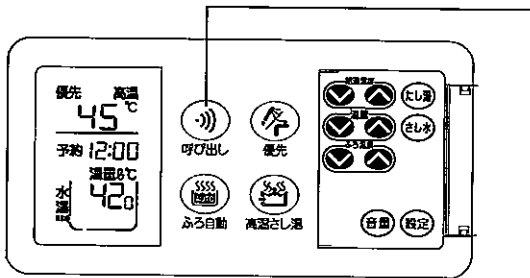


途中で止めるときはもう一度を押す

- たし湯中にエアーが出ることがあります。
- 湯はり中は使用できません。
- 最初は配管内の冷めた水が出る可能性があります。

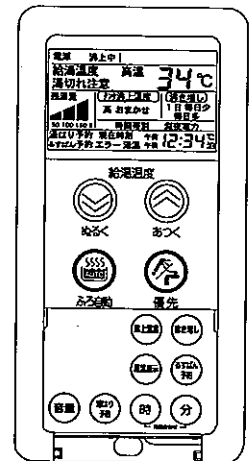
7 入浴中に人を呼ぶ (呼び出し)

浴室で [呼び出し] ボタンを押すと、メインリモコン、浴室リモコン両方で呼び出し音がなります。



呼び出し

「ピー・ピピピ」「ピー・ピピピ」「ピー・ピピピ」

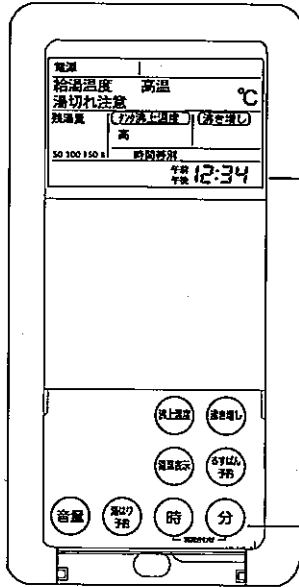


「ピー・ピピピ」「ピー・ピピピ」「ピー・ピピピ」

8 湯はりの予約をする (湯はり予約)

予約した時刻にお風呂に入れるよう、湯はりの予約をします。予約は1日限りの予約です。

メインリモコン



例) 午前10時に、午後7時30分の湯はり予約をする

リモコン表示部

予約前

現在時刻 午前 **10:00**

1 湯はり予約

湯はり予約 午後 **8:30**

前回予約の時刻が点滅

2 時

湯はり予約 午後 **7:00**

3 分

湯はり予約 午後 **7:30**

4 湯はり予約

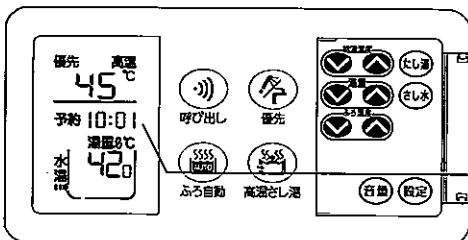
湯はり予約 午後 **7:30**

数秒で時計表示は現在時刻になります。

予約完了

湯はり予約 現在時刻 午前 **10:01**

浴室リモコン



リモコン表示部



予約解除するときは、もう一度「湯はり予約」を押す。

お願い

- 「湯はり予約」は、予約設定時刻の1時間以上前におこなってください。1時間以内に設定した場合は、予約時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 湯はり予約時間が、現在時刻よりも前の場合には翌日の「湯はり予約」となります。
- 予約したときの湯はり完了は、予約時刻を目標にしています。

リモコンの特殊な使いかた

リモコンのスイッチの操作によりいろいろな使いかたがあります。

音量を変える(メインリモコン)

リモコンの音量が変わります。

音量 ボタンを押すごとに「標準 → 大 → 消す → 小 → 標準」と変わります。
 適当な音量でお使いください。

音声「音量は標準です」

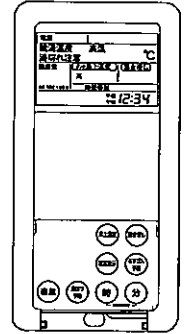
音声「音量は大です」

音声「音量を消します」

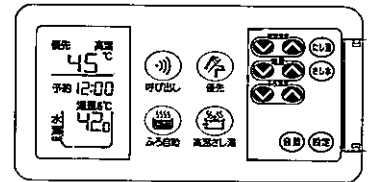
音声「音量は小です」

音声「音量は標準です」

メインリモコン



浴室リモコン



エラーを解除する

使用ミスによるエラーは、解除することができます。

メインリモコン

分 を押しながら **湯温表示** を押す

浴室リモコン

設定 を押しながら **湯量** を押す

節電モードにする(浴室リモコン)

リモコンの表示を少なくして待機電力を減らします。

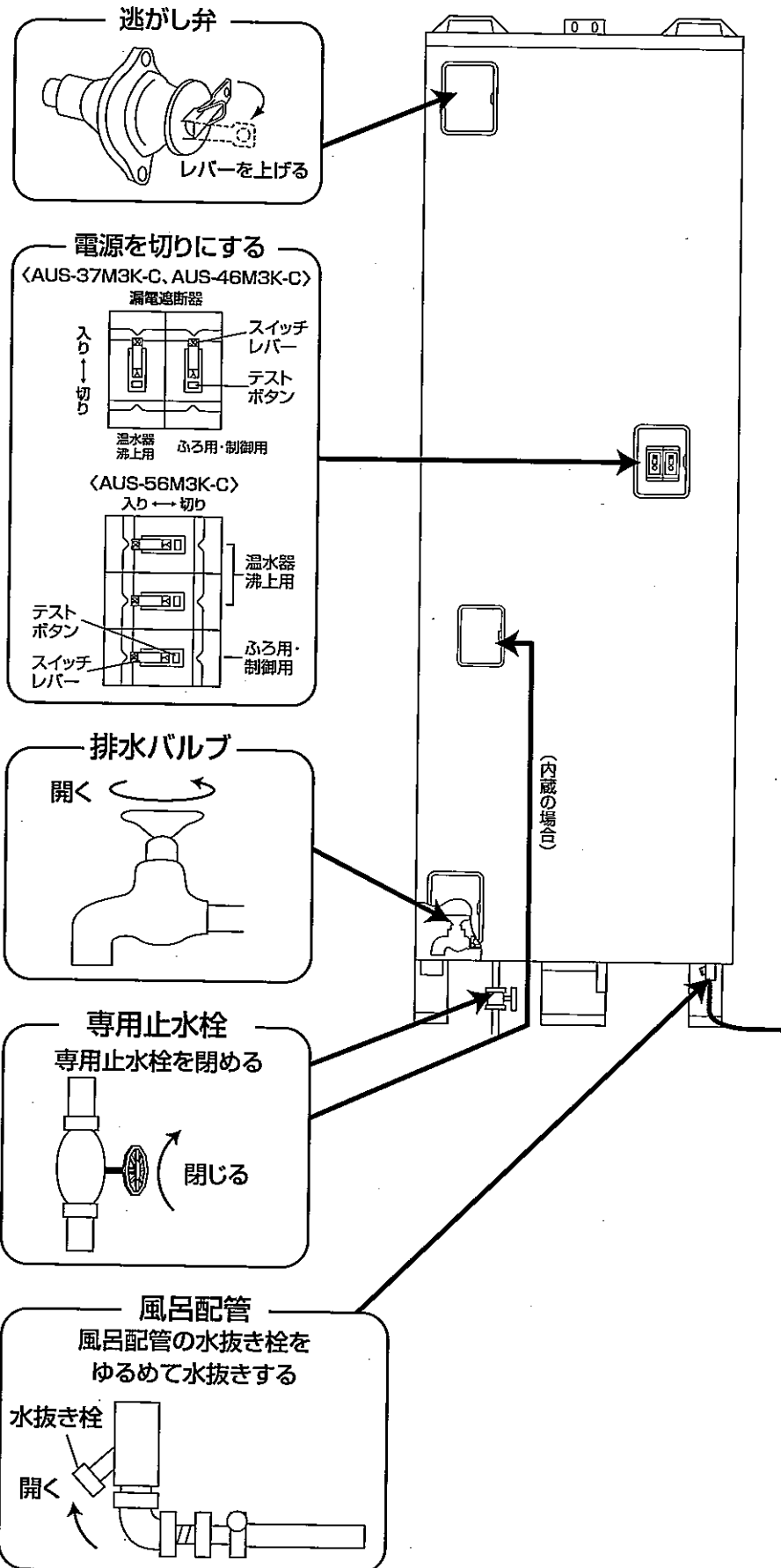
- 浴室リモコンの表示が時計のみとなります。
- 節電、モードを解除するには、再度同じ操作をしてください。

設定 を押しながら **さし水** と **たし湯** を押す。

長期間使用しないとき

1ヵ月以上、温水器を使用しないときは温水器の運転を止めタンクの水抜きをしてください。

注意 1ヶ月以上使用しないときはタンクの水を抜く。水質が変化することがあります。



- 1** 電源を[切り]にする
漏電遮断器のレバーを「切り」にする。
- 2** 温水器のお湯を抜く
タンク内を水にしてから抜いてください。
温水器にお湯が残っている場合は、混合栓を開きお湯が出なくなるまでお湯を出してください。
- 警告** 排水時はやけどに注意する
- 3** 専用止水栓を閉じる
タンクへの給水を止めます。
- 4** 逃がし弁を開ける
逃がし弁のレバーを上げることにより、空気をとり入れる。
- 5** 温水器タンクの排水栓を開ける
タンク内の湯水が出なくなるまで排水する。
- 6** 風呂配管の水を抜く
タンクの排水が終わったら風呂配管の水を抜いてください。

再使用のとき

1. 専用止水栓を開ける
- ↓
2. (2、3分)後、タンクの排水バルブを閉じる
- ↓
3. タンクが満水になり逃がし弁から水が出たら逃がし弁を閉じる(レバーを下げる)
- ↓
4. ふろ配管の水抜き栓を閉じる
- ↓
5. タンクの満水を確認して電源を入れる

お願い 冬期、外気温が0℃以下になる時は各部の水抜きが完了したら「ふろ用・制御用」の漏電遮断器を「入」にしてください。(「温水器沸上用」は「切」) 配管内等にわずかに残った水による部品の凍結破壊を防止するためです。

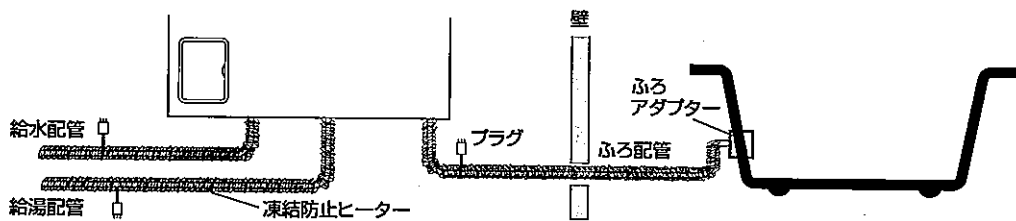
凍結防止について

冬季に外気温が0℃以下になる地域では、配管や機器が凍結して破損することがあります。工事店に相談し適切な凍結防止対策をしてください。
凍結防止の方法は、**凍結防止ヒーターによる**と**浴槽への注水による**があります。

凍結防止ヒーターによる



凍結防止対策を確認する
凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

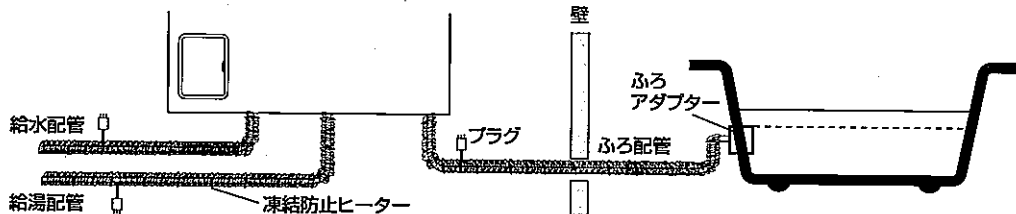


- 給水・給湯配管の露出部および風呂循環配管に凍結防止ヒーターが巻いてあるか確認してください。
- 凍結のない季節はコンセントからプラグを抜いてください。

浴槽への注水による

リモコンを凍結防止運転モードにして浴槽へ注水する。

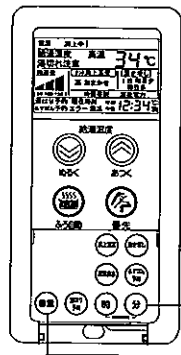
- 1.入浴後、排水しておく。
- 2.リモコンの凍結防止設定は 1 (標準) か 2 (寒冷地) に設定する。



- 給水・給湯配管および風環配管の露出部に凍結防止ヒーターが巻いてあるか確認してください。
- 凍結のない季節はコンセントからプラグを抜いてください。

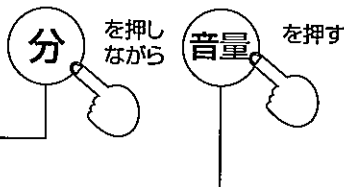
凍結防止運転の設定を変える。(設定は地域と季節に合わせて使用してください。)

メインリモコン

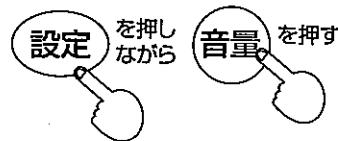
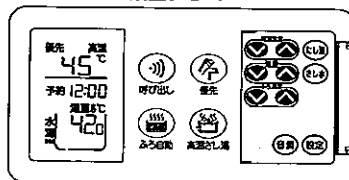


●お買いあげ時は、0 に設定しています。

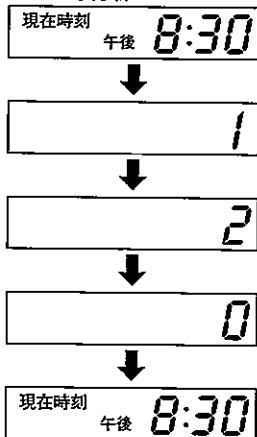
寒冷地は 2 に設定してください



浴室リモコン



リモコン表示部



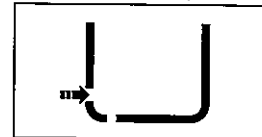
■運転モードを選ぶ

- ①ボタンを押すごとに 1 → 2 → 0 → 1 表示が変わります。
- ② 1 または 2 を表示させてしばらく待つと設定されます。
- ③設定を確認してしばらく待つと時刻表示にもどります。設定は変更しない限り毎日有効です。

- 1 は 標 準:外気温が低下すると一定時間ごとに浴槽に注水します。
- 2 は 寒冷地:外気温が低下すると一定時間ごとに浴槽に注湯します。
- 0 は凍結防止運転をしないモードです。

Ⓞ入浴中でも凍結防止運転を行います。そのときはふろアダプターから水が出ますのでご注意ください。

リモコン表示部(標準)



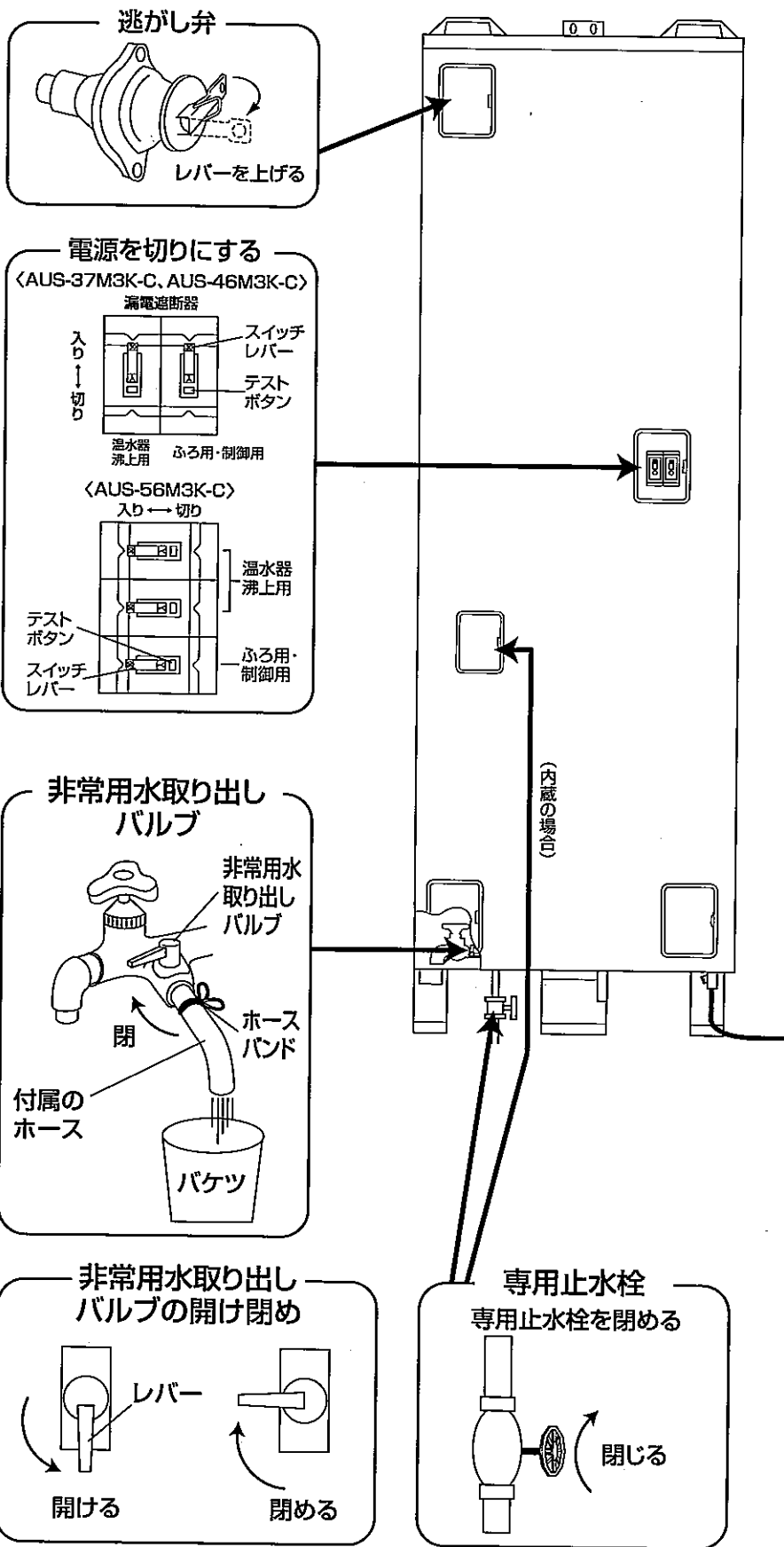
お願い

●凍結防止は自動的に行います。凍結防止の必要がないときは、運転モードを 0 にしてください。

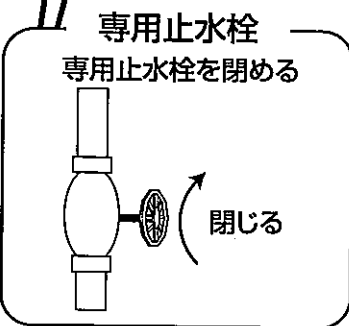
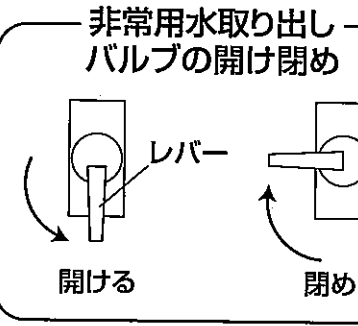
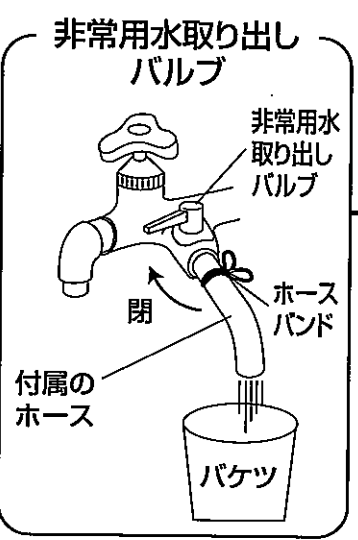
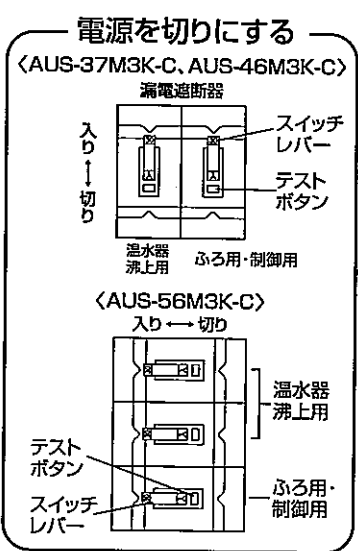
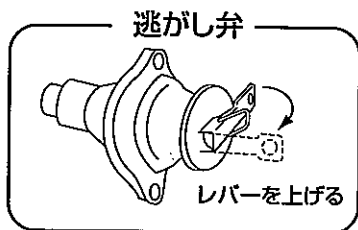
万一の災害時には 非常用水の取り出しバルブの使いかた

万一の災害や断水時には、タンクのお湯を生活用水として利用できます。このお湯(水)は、飲用は不可です。

⚠ 注意 湯(水)取り出し時は、やけどに注意する



- 1** 電源を「切り」にする
漏電遮断器のレバーを「切り」にする。
- 2** 専用止水栓を閉じる
タンクへの給水を止めます。
- 3** 逃がし弁を開ける
逃がし弁のレバーを上げることにより、
空気を取り入れる。
- 4** 付属のホースを非常用水取り出しバルブに取り付ける
バケツや洗面器などにお湯(水)を取り出すためにホースを取り付けます。
- 5** 非常用水取り出しバルブを開ける
タンク内の湯(水)を取り出します。
バケツや洗面器で受けて使用してください。



- 再使用のとき**
1. 専用止水栓を開ける
 - ↓
 2. (2、3分)後、タンクの排水バルブを閉じる
 - ↓
 3. タンクが満水になり逃がし弁から水が出たら逃がし弁を閉じる(レバーを下げる)
 - ↓
 4. タンクの満水を確認して電源を入れる

停電したとき

停電により、時刻がずれてしまった場合(時刻表示部は「午後11:00の点滅」)は、必ず時刻を合わせてください。また、温水器のわか上げ湯温や浴槽湯温・水位などの設定がかわった場合は再度、設定してください。

■時刻

時刻を合わせないと、「沸き上げできない」場合があります。また、正しい時刻に合わせないと、電気料金が割高になる場合があります。

■停電後の使用方法

機器の使用中に停電した場合は、通電後、もう一度スイッチを押して使用してください。

※本機は、電気で作動しますので、停電中は使用できません。

なお、給湯・お湯はり量表示などもお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので確認してください。

点検のおすすめ(有料)

電気温水器を少しでも長くお使いいただくためには、専門技術者による点検および消耗品の交換が必要です。当社では指定メンテナンス店がお客様にかわって保守管理をお引き受けしておりますので、ぜひご利用ください。(詳細は販売店または株式会社コロナへお問い合わせください。)

日常の点検とお手入れ

漏電遮断器の点検 年に2~3回

漏電遮断器の点検は、200V通電中に行ってください。

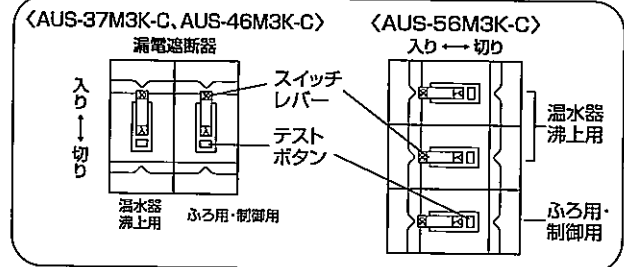
1. テストボタンを押す。

電源レバーが「入り」→「切り」になれば正常です。
「切り」にならない場合は、据付工事店に連絡してください。

2. テストが終われば必ず電源レバーを「入り」に戻す。



漏電遮断器の作動を確認する。



逃がし弁の点検 年に2~3回

1. 逃がし弁の動作をみる

逃がし弁のレバーを上げ下げしてお湯(水)が排水口から出ることを確認する

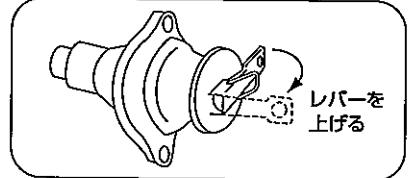
- お湯(水)が排水口から出れば正常です。
- お湯(水)が排水口から出ない場合、またはレバーの動きが悪い場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源を「切り」にして据付工事店に連絡してください。
- 動作確認後は必ずレバーを下げてください。



やけど注意
排水中は、配管に手を触れない。



逃がし弁の点検をする
タンクや配管が破裂して、やけどの原因になります。



2. 逃がし弁の水漏れをみる

リモコンの[沸上中]の表示がないとき、お湯(水)が排水口から出ないことを確認する

- お湯(水)が排水口から出てなければ正常です。
- お湯(水)が排水口から出ている場合は、レバーを2、3回上げ下げして湯(水)が止まるか確認してください。それでも止まらない場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源を「切り」にして据付工事店に連絡してください。
- 動作確認後は必ずレバーを下げてください。

タンクの清掃 年に2~3回

1. タンク排水バルブを開く(洗面器1杯程度の量を出してみる)。

タンクの下部にたまった汚れを排水してください。

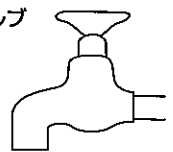
2. 排水の汚れが無かったら排水バルブを閉める。

排水の汚れがひどい場合は、据付工事店に連絡してください。



やけど注意
排水中は、配管に手を触れない。

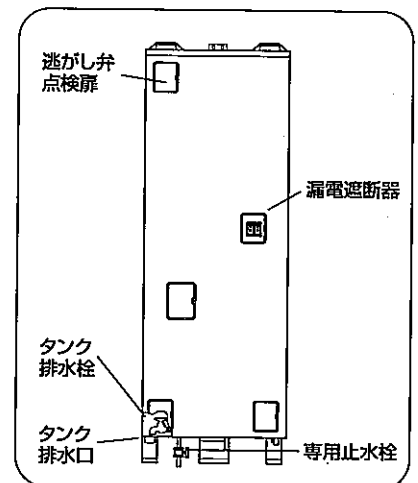
タンク排水バルブ



配管の点検 年に2~3回

配管の水漏れや配管の保温材の破損がないか点検してください。

- 配管の水漏れがある場合は、温水器専用止水栓を閉じ、電源を「切り」にして、据付工事店に連絡してください。

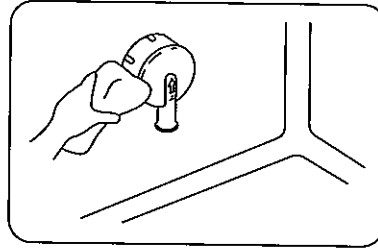


ふるアダプターのお手入れ 1週間に1度

浴槽のお湯を排水した後に行います。

ふるアダプターのカバーを水洗いする

歯ブラシなどを使用すると、細部の汚れがおちます。



やけど注意

浴槽にお湯がないときは
高温さし湯スイッチを押さない。

リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

ベンジンやシンナーなどの化学薬品は使用しないでください。

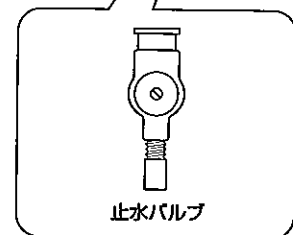
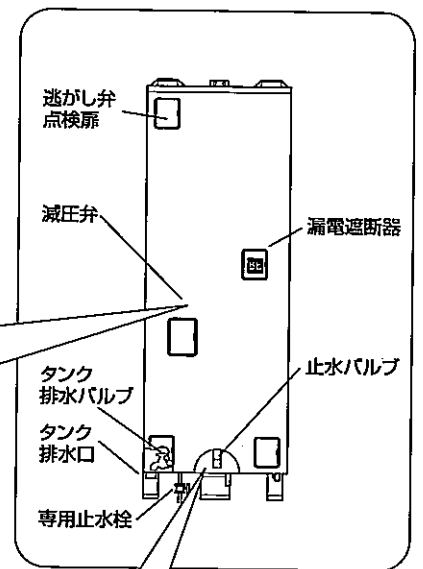
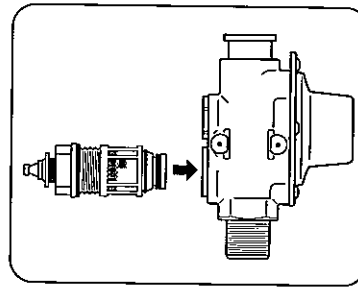
ストレーナーの掃除

お湯や水の出が悪くなったときは、減圧弁のストレーナーの掃除が必要です。

●ストレーナーの掃除は、工事店または株式会社コロナに依頼してください。

[手順]

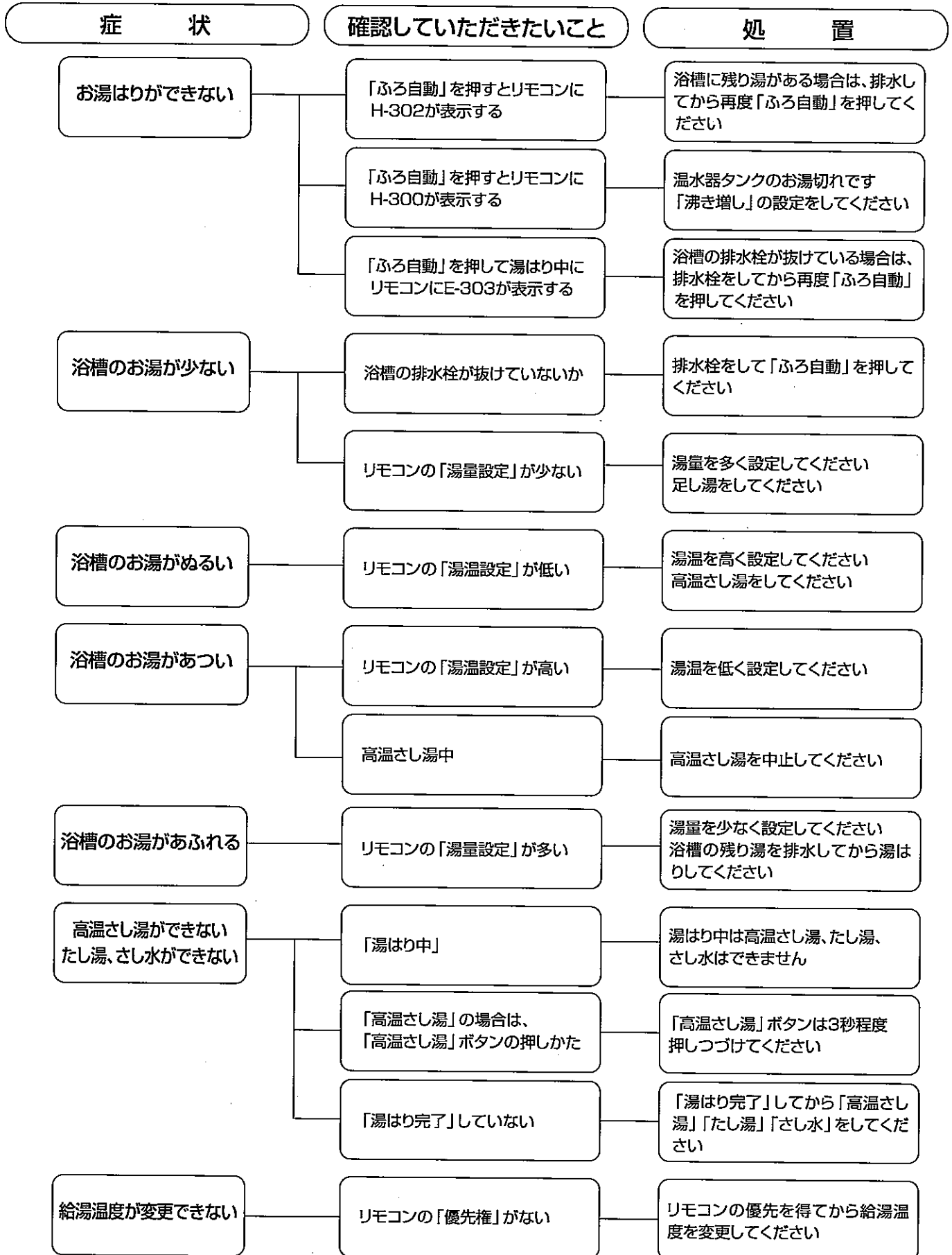
- ①前面カバーを開ける。(ビス5本)
- ②専用止水栓を閉める。
- ③タンクの下方の給水管の曲がり部分にある、止水バルブを閉める。
- ④減圧弁のストレーナーをはずし、あみを掃除する。
水洗いしても汚れが落ちないときは、歯ブラシなどで掃除してください。ストレーナーをはずすときは、配管に残った水が出ますので周辺の機器に水がかからないよう容器やビニール袋などで受けてください。
- ⑤掃除が終わったら、ストレーナーを組み付け専用止水栓・止水バルブを開け通水してから水漏れを確認し、前面カバーを取り付ける。



故障診断 調子がおかしいとき (修理を依頼される前に)

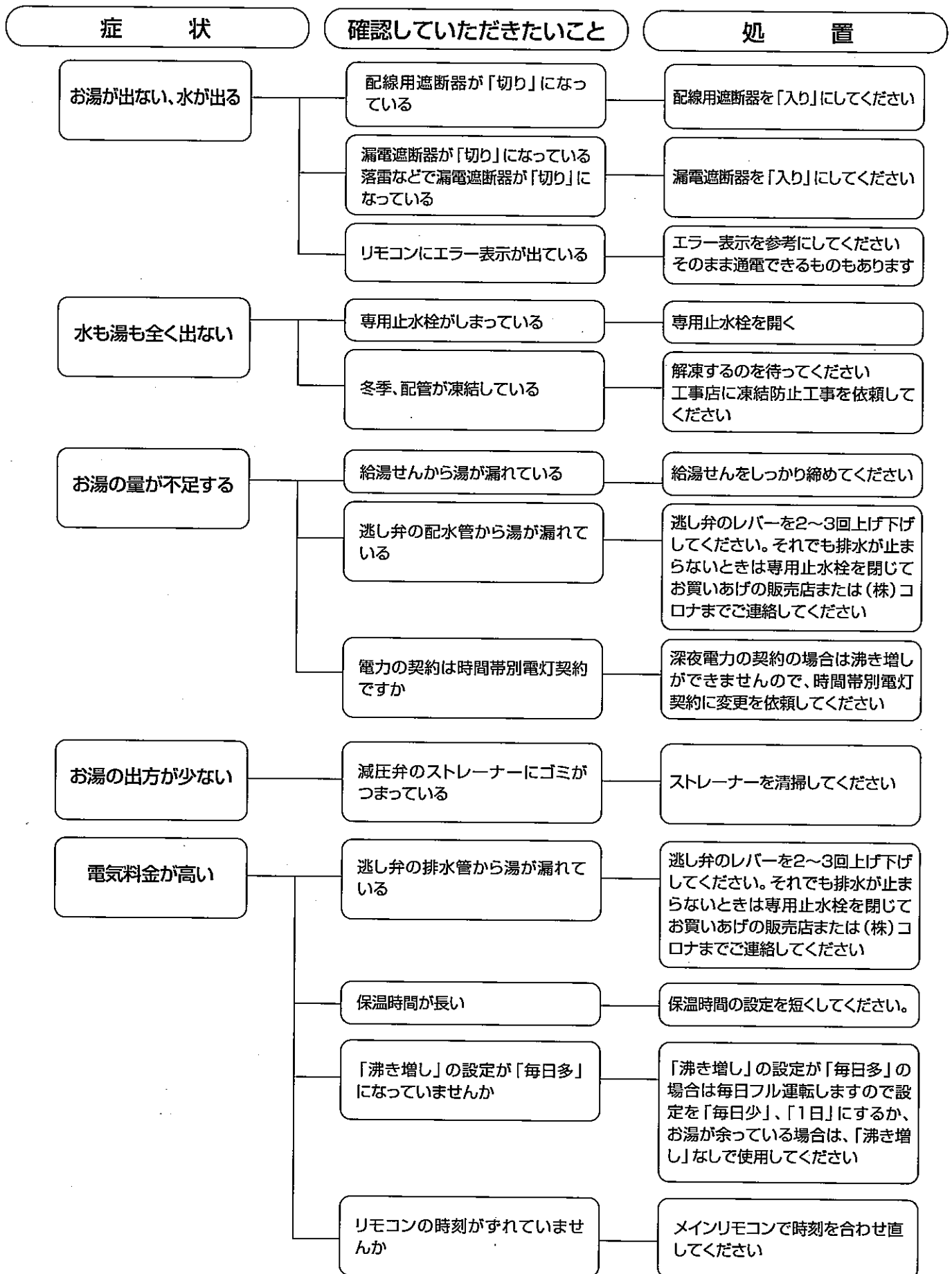
次のようなときは温水器の故障ではありませんので調べてみてください。

調べてもなお異常がある場合は、お買いあげの販売店または株式会社コロナへご連絡ください。



次のようなときは温水器の故障ではありませんので調べてみてください。

調べてもなお異常がある場合は、お買いあげの販売店または株式会社コロナへご連絡ください。



故障診断 こんなときは故障ではありません

次のようなときは温水器の故障ではありませんので調べてみてください。
調べてもなお異常がある場合は、お買いあげの販売店または株式会社コロナへご連絡ください。

■お湯が白く濁って見える

これは水中に溶けこんでいた空気が熱せられ、蛇口を開けたとき大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビールの泡と似た現象であり、全く無害なものです。

■ヒーターにすぐ通電されない

マイコンの機能で給水水温によってヒーターの通電時間を変えています。水温が高い場合には、深夜電力が通電になってもすぐには沸き上げせず、ある時間経過してから沸き上げ開始するようになっています。沸き上がりを深夜電力の終了時間にできるだけ合わせた制御をします。

■設定温度まで沸き上がらない

リモコンに「通電中」が表示されているとき、お湯を使用した場合、タンクの残り湯が20L未満で給水水温が10℃以下の場合などには、設定温度まで沸き上がらない場合があります。

■お湯から油が出る

初めてお使いの場合は、配管施工時の油が出る場合がありますがしばらくすると消えます。

■時計がずれる

水晶発振器で月差約1分です。現在時刻に合わせてください。

■スイッチを押したときリモコンの表示部がちらつくことがありますがりモコンの故障ではありません。

■沸き増ししても湯量が少ない

沸き増しの設定を「毎日少」から「毎日多」「1日」に変更してみてください。
沸き増しの設定は、早めに行ってください。


■沸き増しの設定ができない


契約電力が「深夜電力」になっている場合は沸き増しできません。

エラー表示と処置

エラー表示の欄の  マーク以外は、サービスマンの点検が必要です。


株式会社コロナまたは、お買いあげの販売店までご連絡ください。


 マークはエラー解除(20ページ)をしてください。

エラー表示	エラー内容	処置
E-200	50L残湯センサーの断線、短絡	残湯センサーの点検、交換
E-201	100L残湯センサーの断線、短絡	残湯センサーの点検、交換
E-202	150L残湯センサーの断線、短絡	残湯センサーの点検、交換
E-203	外気温センサーの断線、短絡	外気温センサーの点検、交換
E-204	制御センサー下の断線、短絡	制御センサーの点検、交換
E-205	92℃以上沸き上げ 50L残湯センサーの短絡	制御センサーの点検、交換 ヒーターリレーの点検、交換 残湯センサーの点検、交換
E-206	24時間以上深夜電力未通電	電力メーターの点検 漏電遮断器、内部配線の点検
 E-210	沸き上げ温度が上昇しない 深夜電力通電中にお湯を使用した	ヒーター、ヒーターリレー、温度過昇防止器の点検
H-211	深夜電力通電中2時間以上停電あり	電力メーターの点検 漏電遮断器の確認
E-212	空焚き防止センサーの圧力異常	タンク満水の確認(給水栓を開く) 空焚き防止センサーの点検、交換

エラー表示の欄の  マーク以外は、サービスマンの点検が必要です。

株式会社コロナまたは、お買いあげの販売店までご連絡ください。

 マークはエラー解除 (20ページ) をしてください。

エラー表示	エラー内容	処 置
 H-300	温水器タンクの湯が少ない	沸き増しをする、湯の使いすぎ注意、沸き上げ設定温度を上げる
E-306	二方弁の故障	二方弁の点検、交換
E-308	ふろ温度センサーの断線、短絡	ふろ温度センサーの点検、交換
E-312	ふろ給湯フローセンサーの故障	ふろ給湯フローセンサーの点検、交換 ふろ給湯電磁弁の点検、交換
E-314	一般給湯温度センサー断線、短絡	温度センサーの点検、交換
E-320	ふろミキシングバルブの故障	ふろミキシングバルブの点検、交換
E-322	ふろ湯はり温度調節の不調	ふろ給湯フローセンサーの点検、交換 ふろ温度センサーの点検、交換
E-330	一般給湯ミキシングバルブの故障	一般給湯ミキシングバルブの点検、交換
E-332	一般給湯の温度調節の不調	一般給湯ミキシングバルブの点検、交換 一般給湯温度センサーの点検、交換
E-500 (502, 503, 504, 505, 520, 521)	制御基板の誤動作、故障	制御基板のリセット、点検、交換

仕 様

		AUS-37M3K-C	AUS-46M3K-C	AUS-56M3K-C
適用料金制度		時間帯別料金／深夜電力(8時間通電制御型)		
タンク容量		370L	460L	560L
定格	温水器	単相200V 4.4kW	単相200V 5.4kW	単相200V 6.4kW
	制 御	単相200V 12W		
	周波数	50/60Hz共用		
質量(満水時)		約86(456)kg	約98(558)kg	約104(664)kg
外形寸法(mm)		幅700×奥行800×高さ1,687	幅700×奥行800×高さ1,978	幅700×奥行800×高さ2,158
漏電しゃ断器		感度電流15mA・定格200V-30A		
配管口径		給水・給湯・口径R3/4、風呂行き口径R1/2		
減圧弁設定圧力		150kPa(1.5kgf/cm ²)		
設置条件		屋外型		
主な機能	沸き上り温度	最高:90℃ おまかせ(約70℃~90℃)		
	沸き増し設定	1日・毎日少・毎日多		
	給湯温度	35℃~48℃(1℃きざみ)・50℃・60℃		
	自動湯はり量	水量設定100~400L(20Lきざみ)		
	自動湯はり温度	35℃~48℃(1℃きざみ)		
	高温差し湯	約60℃、(約80℃)のお湯を約2分間注入する		
	足し湯	湯はり設定温度のお湯を約2分間注入する		
	差し水	浴槽温度を約1℃低下させる量の水を注入する		
日水協・認証登録番号		A-358		
BL認定番号		申請中		

- 高圧力型は出湯量が増えるため、容量選定には従来圧力型よりもワンランク上の機種をお選びください。
(370ℓは2~3人、460ℓは3~4人、560ℓは4~5人を使用人数の目安としてください。)
- 減圧弁への一次給水圧は200kPa以上必要です。
- 従来圧力型の給湯器から高圧力型へ買替えする際、給湯配管の老朽化に伴い水漏れが発生することがありますので、事前にご確認願います。

保証とアフターサービス

1 保証について

- 必ず「販売店(工事店)」「据付日」などをご確認のうえ保証内容をよくお読みいただき大切に保存してください。

2 保証内容について

- 保証期間は据付日から2年間です。ただし、本体ヒーターは3年間、タンクは5年間です。
- 正常なご使用状態で、この期間内に万一故障が生じた場合は、保証書の記載事項にもとづき「無償修理」いたします。
- 無償期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

3 点検と修理について

- 少しでもご不審の点がありましたら、販売店または株式会社コロナに点検・修理を依頼してください。

4 補修用部品の保有期間について

- 当社はこの電気温水器の補修用性能部品を製造打切後7年(BL認定品は10年)保有しています。なお補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 部品交換時期のめやす

- 電気温水器の部品の寿命は、沸き上がり温度、水質など使用する条件によってかわりますが、一般的な交換時期のめやすを参考にしてください。

部品名	補修期間のめやす	補修方法	補修の必要性
ヒーター	5~8年	交換	通電時間や水質によって性能が低下することがあります。
フランジパッキン	5~8年	交換	長期間使用すると、ゴムの弾性が減少しシーリング性がなくなったりゆるんだりします。また弁類は水中のスケールによって水漏れしたり動かなくなったりすることがあります。
逃し弁	3~5年	交換	
減圧弁	5~8年	交換	長期間の使用により、金属疲労が生じ接触部が損耗することがあります。
温度過昇防止器	5~8年	交換	
温度調節器	5~8年	交換	
電磁接触器(リレー)	5~8年	交換	水中のスケールやゴミが付着し水漏れしたり動かなくなったりすることがあります。
タンクの逃し弁	3~5年	交換	
自動給湯部品 (循環ポンプ・電動弁類等)	5~8年	交換	長期間使用すると、水中のスケールによって水漏れしたり動かなくなったりすることがあります。
ゴム継手、Oリングなど	5~8年	交換	長期間使用するとゴムの弾性が減少し水漏れすることがあります。
配管保温材	3~5年	補修	太陽の紫外線によって劣化することがあります。

事業者様へのご案内

『労働安全衛生法施行令(安衛法)令』改正について

1998年12月、『労働安全衛生法施行令』(以下安衛法)が改正され、電気温水器のタンク内圧が従来の「100kPa以下」から「200kPa以下」へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。

「安衛法」の規定において、従来の電気温水器は『簡易ボイラー』に区分されますが、高圧力型電気温水器は『小型ボイラー』に区分されます。

簡易ボイラー：「安衛法」適用外、事務所・一般家庭に設置できます。

設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要・定期自主検査の義務もありません。

小型ボイラー：今回の改正の対象は、伝熱面積40kW以下・水頭圧100kPaを超え200kPa以下の給湯器です。「安衛法」が適用になり、一般家庭に設置する場合は、簡易ボイラー同様設置届け・定期自主検査の義務はありません。ただし、事業所に設置する際には、労働基準監督署への設置届けが必要になり、定期自主検査、特別教育、事故報告も必要になります。

・取説記載対象形名：AUS-37M3K-C・AUS-46M3K-C・AUS-56M3K-C

※事業所とは広く家庭用以外の用途で使用される場所を指します。ただし、同居の親族のみが使用する事業所は適用から外れます。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。なお、届出は事業者様が行うことになっています。

●設置報告

事業者様は高圧力型電気温水器を設置するとき、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務づけられています。

●定期自主検査

事業者様は高圧力型電気温水器を使用開始後、1年毎に1回、定期的に定期自主検査を実施することが義務づけられています。

●特別教育

事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは、安全のため特別教育を実施することが義務づけられています。

●事故報告

事業者様は高圧力型電気温水器の事故等が発生したとき、事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務づけられています。

事業所設置の際の規定事項

設置報告

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第91条

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかどうかを確認する必要がありますので事業者は、小型ボイラー設置報告書に構造図^(※1)及び小型ボイラー明細書^(※1)並びに小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面^(※2)を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。

小型ボイラーを同一事業場内で移転した場合には、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書の提出が必要になります。

※1 同梱されている明細書・構造図を使用して設置届けを行ってください。

※2 事業所内での小型温水ボイラーの設置位置を記載した地図を書いてください。

定期自主検査

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第94条

事業者様は小型温水ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本 体	・ 製品本体からの漏れの有無 ・ 逃し弁の動作状態および漏れの有無 ・ 漏電遮断器の動作状況 ・ タンクの手入れ
配 管	・ 損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の「日常の点検、お手入れのしかた」を参照してください。

なお、自主検査を行った後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

特別教育

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第92条

事業者様は小型温水ボイラーの取扱い業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育を行ってください。

特別教育の科目

- ① ボイラーの構造に関する知識
- ② ボイラーの付属品に関する知識
- ③ 関係法令
- ④ 小型ボイラーの運転及び保守
- ⑤ 小型ボイラーの点検

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。

なお特別教育の科目の全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。

同梱の取扱説明書を使用して、製品の取扱い説明を行ってください。

事故報告


■適用法令→労働安全衛生規則第96条

事業者様は、小型ボイラーの破裂の事故などが発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

製造元 株式会社 **JO+**

〒955-8510 新潟県三条市東新保 7-7 TEL (0256) 32-2111 (大代表)

●アフターサービスなどのお問い合わせは

 0120-917-567 (365日 24時間受け)